あなたのいちばんに。
ふくおかフィナンシャルグループ

FFG調査月報

MONTHLY REPORT

7

2022.JUL
VOL.147

Top Interview

上村建設 株式会社　代表取締役社長　上村 英輔 氏
株式会社 筑豊製作所　代表取締役会長　麻生 誠 氏・代表取締役社長　麻生 英樹 氏
有限会社 辻産業　代表取締役社長　中田 博基 氏
株式会社 谷川建設　代表取締役　谷川 喜一 氏

福岡銀行
熊本銀行
十八親和銀行

懐かしい
情景を
探して

Looking for a nostalgic scene

松の香りを憶えていますか？

▲唐津湾に浮かぶ高島

▲虹の松原

クロマツ林に道路が吸い込まれ、車内から見える景色は木漏れ日溢れる緑のトンネルへと一変する。唐津湾に広がる松林は、初代唐津藩主・寺沢広高（てらざわひろたか）が行った防風・防潮のための植林が始まりで、やがて二里の松原と呼ばれるようになった。藩政時代、許可なく伐採した者は死罪と厳しく管理され、120haの広大なクロマツ林は今に残った。ここは夏でも蝉が鳴かず（※1）、涼風が林の中を吹き抜けていく。

砂地の木立を抜けると海辺に長い一本道が延びている。今は亡き、ジャック・マイヨール（※2）のお気に入りの散歩道だ。穏やかな唐津湾にポツンと浮かぶ高島と弧を描く白い砂浜は、まるで虹のシルエットのよう。遠い昔、海水浴で訪れた「虹の松原」はあの時と同じ景色と松の香りで迎えてくれる。

（※1）虹の松原七不思議の一つ「松原にはセミの声がしない」。豊臣秀吉がセミの声に「うるさい！」と怒鳴ってからは、鳴き声がしなくなったと言う

（※2）ジャック・マイヨール（1927～2001）世界的なダイバーで親日家。映画「グラン・ブルー」は彼の生涯を扱った作品

（文・阿井川 圭）

▲海辺の一本道

◉東の浜海水浴場

住所：佐賀県唐津市東唐津

CONTENTS

2

8

14

20

28

42

56

60

64

懐かしい情景を探して　松の香りを憶えていますか?

Top Interview

2　福岡銀行
上村建設 株式会社　代表取締役社長
上村 英輔 氏

8　福岡銀行
株式会社 筑豊製作所
代表取締役会長　代表取締役社長
麻生 誠 氏　・　麻生 英樹 氏

14　熊本銀行
有限会社 辻産業　代表取締役社長
中田 博基 氏

20　十八親和銀行
株式会社 谷川建設　代表取締役
谷川 喜一 氏

28　**地域とつながるFFG連携プロジェクト**
官民が連携した
歴史まちづくり活動の推進

37　**釣り道**　雲海に沈む湖のおさかな編

38　**地銀9行連携レポート**　京都銀行
京都府福知山市における遊休公有資産の活用
～「廃校マッチング」の実施～

42　**地域と共生するFFG**　奈留島特集

50　**シンガポール駐在員報告**
シンガポールの食料事情と新たなビジネスチャンスについて

52　**FFG BMS**
明和産業 株式会社 ／ 株式会社 ネットワーク
オギハラ食品 株式会社

54　START UP Company　株式会社 エルティービー

56　GOLF MEGA STAR　プロゴルファー　櫻井 心那 氏

60　**九州の星**　MOS世界学生大会2021
エクセル365&2019部門 世界第1位　中園 愛美 氏

64　**長崎だより**
発明親子の奮闘記
発明農機具ジャガールとブルガール
農機にかける親子の思い

バックナンバーのお知らせ　「FFG調査月報」のバックナンバーは、ふくおかフィナンシャルグループのホームページにてご覧いただけます。

今月の表紙　長崎市恐竜博物館（長崎市野母町）

表紙の写真は、長崎市恐竜博物館（2021年10月オープン）に展示されているティラノサウルスの全身骨格レプリカです。その他、長崎より産出された化石など、約180点の標本を展示。復元ロボットや実物の化石に触れられるコーナーも常設されており、見て触って長崎と恐竜のつながりを学ぶことができます。海に面した展示室の窓からは軍艦島を望むことができ、長崎の新スポットとなっています。（新型コロナウイルス感染予防のため要事前予約、入場制限有、開館:9時～17時、最終入館:16時30分）

Top Interview

トップに聞く！

福岡銀行

総合建設業として地域とともに歩み、「100年企業」を目指す。

上村建設（うえむらけんせつ）株式会社

代表取締役社長
上村 英輔（うえむら えいすけ）氏

取引店／福岡銀行 本店営業部

■会社概要

創業:1950年／**設立**:1959年／**所在地**:福岡市博多区／**資本金**:1億円／**従業員**:319名／**事業内容**:総合建設業／**グループ会社**:（マンション企画・設計・施工、物流施設建設、商業施設建設、大規模修繕・リノベーション）上村建設／（賃貸管理・仲介、不動産コンサルティング、不動産売買仲介、保険代理業）ハッピーハウス／（不動産管理・貸付、損害保険代理業）上村倉庫／（戸建住宅建設・リフォーム・公共工事）ユーライフホーム／（サブリース事業）ハッピーリースサービス／（家賃債務保証）ハッピー住宅保証

会社ホームページはこちらからどうぞ!

ウエムラグループのホームページはこちらからどうぞ!

本社1階ロビーにて（左から上村社長、柴戸会長）

会社設立から63年目
福岡の発展と共に成長

上村建設は、1950年に私の祖父・上村實（みのる）が、現在の福岡市博多区吉塚に個人企業として創業したのが始まりです。会社の設立は1959年2月18日、福岡県糟屋郡粕屋町にて「有限会社上村建設」としてスタートし、1961年に「上村建設株式会社」に組織変更をしました。

その後、1966年には福岡市中央区大名に本社社屋を新築移転し、1983年には、当時需要が急速に高まっていた賃貸事業に進出するため不動産管理部門を発足させるなど、福岡市の発展とともに事業を拡大していきました。

1987年には、現在の福岡市博多区住吉に社屋を新築し、1996年には、不動産管理部門を分離独立させ、「ハッピーハウス株式会社」を設立するなど、この時に管理戸数はすでに1万戸を超えていました。その後は企画型マンション「ステラ21」の開発プロジェクト、企画型賃貸マンション「プレア（プレミアム・アート）」の開発、公共施設や商業施設、工場・倉庫、医療・福祉・教育施設の建設など幅広く手掛け、地元福岡で「ナンバーワンゼネコン」の地位を目指し、邁進してまいりました。2000年には父・秀敏（ひでとし）が社長に就任。そして2019年に会社設立60周年を迎えました。

現場監督、銀行員の経験を
会社経営に生かす

私は大学卒業後、ゼネコンに入社、現場監督を3年間務めました。当時マンション供給戸数で全国トップを誇っていたため、建設の職人さんとともに、朝早くから夜遅くまで現場で働く毎日でした。まだ年齢は20代の前半ですから、疲れも知らずに働き続けましたが、建設業の実態を現場から見られた経験というのは、非常に密度の濃いものでした。

その後、2008年に25歳の若さで福岡に戻り、元々銀行員だった父の勧めもあって、同年福岡銀行に転職しました。実家が建設業ということもあったのでしょう、銀行では住宅ローン業務などを担当。本部では資産査定、

担保評価などで不動産に関わることも多く、さまざまな物件に関わりながら、仲間たちと不動産の勉強をしつつ熱く議論を交すような毎日でした。学ぶことが非常に多かったと感じています。

銀行には10年勤めると父と約束をしていたのですが、入行8年目に突然父の「戻ってこい」の一言で退職し、2016年に上村建設に入社しました。常務取締役として経営に関わることになりましたが、父からは「好きにすればいい」と言われ、自分なりに会社の現状を見て、業務改善に乗り出しました。

それまでの上村建設は、単年度ベースでの売上目標、利益率の目線は社内で共有されていましたが、会社としての中長期的な方向性や新規事業へのチャレンジングな取り組みが少ない印象を持つと同時に、これまで培ってきたビジネスモデルに依存しすぎていることに強い不安を感じました。そこで、中期経営プランの策定や業務効率化のための社内のIT化など、グループの将来に向けた業務改善に動き始めたのです。

上村社長

考える集団になるために
「中期経営プラン」を社員が策定

2019年、会社設立60周年に合わせて策定した中期経営プランでは、三つの重点戦略を掲げました。一つ目は「賃貸マンション建設・管理事業の強化」、二つ目は「『ワンストップサービス』提供体制の構築」、三つ目は「多様な建設事業の強化」です。現在も、このプランに基づいて事業を推進しているところです。

中期経営プランの策定に当たっては、決してトップダウンではなく、社員自らが考える集団になるよう心掛けました。策定のメンバーには、当社グループの40代半ばの17名を集め、

11

9

7
ikumasatoshi (TechniStaff)

10

8

1.社長室／2.会議室／3.執務室／4.左・上村社長、右・三善常務／5.6.ハイラーク東光寺町 新築工事を見学／7.実績紹介:賃貸マンション／8.実績紹介:企画型賃貸マンション「プレア」Lシリーズ／9.実績紹介:オフィスビル／10.実績紹介:物流施設／11.企業メッセージ

ハイラーク東光寺町 新築工事現場にて。前列左2人目から安河内相談役、上村社長、柴戸会長、橋爪本店営業部長（福岡銀行、現・常務執行役員）、吉田総合営業第一部長（福岡銀行、現・博多駅前支店長）

内部環境・外部環境の分析をはじめ、当社グループの課題や顧客の視点にたった今後の方向性を、ボトムアップで策定しました。この策定をきっかけに、中心メンバーのみならず、全社員の意識が変わってきたと感じています。

計画完了の2023年まであとわずかですが、目標はほぼ達成できるのではないかと見通しており、次の中期経営プランの構想にも入っています。これまでは賃貸マンションを主軸として来ましたが、今後は物流施設やオフィスビル、商業施設の建設にも力を入れていこうと思っています。福岡都市圏は現在、人口は増加しているもののいずれは少子高齢化で、賃貸マンションの需要は減っていくことが予想されます。さらには、昨今の建築資材の価格の高騰で、利益も抑えられています。物流施設やオフィスビル、商業施設などの売上げを全体の4割まで引き上げ、持続的な経営を目指していかなければ、今後の成長は見込めません。

当社の歴史や先人に対する感謝の気持ちを大切にしつつも、固定観念に囚われず、目先の売上・利益にも囚われず、真面目に必要と

される価値ある会社をつくっていくことが必要だと感じています。

社員、顧客、取引先にとっての「Make U Happy」を実現

業務改善に乗り出したその矢先、会社設立60周年という記念すべき年でもあった2019年に、社長であった父が急逝しました。いずれはこの会社を引き継ぐつもりではいたものの、予想よりもかなり早い社長交代となりました。幸いにも、当社は永年勤続してくれている社員が多くいます。突然の社長交代であっても、長く働いてくれる社員のおかげで困ることなく、さらには離れていく社員が一人もなく、頭が下がる思いでいっぱいです。ちなみに毎年、勤続5年・10年・20年・30年・40年の社員を表彰していますが、2022年はグループで50名もの該当者がいました。

社長の仕事は、「社員に夢と希望を与える」ことだと思っています。そして限りある時間、人生を捧げてくれている社員への感謝のカタチとして、やりがいをもって働くことができる環境を提供することが私の使命です。やりがいを感じた社員が、やがては仕事を通じてお客様やお取引先への感謝を創造し、提供していくことができれば、会社は必ず成長できると信じています。社員と一緒に、当社の強みを最大限に引き出し、また弱みである様々な要素と向き合い、改善し続けていくことが、企業経営にとって何よりも重要だと感じています。

ウエムラグループ全体のスローガン「Make U Happy」を、年明けからテレビCMや広告などで大きく打ち出しています。「U」は、上村建設の頭文字を当てました。私たちがつくる住まいや施設を通じて、豊かで快適な生活を届け、この街で暮らす喜びにつなげていくこと、私たちの仕事の一つひとつが、幸せにつながっていくことを願って掲げています。

これからも、「100年企業」を目指す地場企業としての誇りを持ちつつ、社員にとっても、お客様にとっても、お取引先にとっても「win win」な関係と信頼を築き上げると同時に、総合建設業としての技術を高め、その技術を継承できる環境を大切にしていきたいと思います。

■ インタビューを終えて

福岡銀行　取締役会長　**柴戸 隆成**

九州各地の若い方から人気の街、ここ福岡においてこれまで需要の高い賃貸マンション建設を主軸に、地域の発展とともに成長され、地場企業として確固たる信頼と実績を重ねてこられました。

今後は、物流施設やオフィスビル、商業施設の建設を増やすご計画のようです。設立60周年を過ぎ、100年を目指す魅力・活力ある企業として、これからもさらなる発展を祈念しています。

Top Interview

トップに聞く！

福岡銀行

創業76年。「人知無限」を社是に、確かな技術と実績でさらなる挑戦を。

株式会社 筑豊製作所

代表取締役会長
麻生 誠 氏

代表取締役社長
麻生 英樹 氏

取引店／福岡銀行 本店営業部

■会社概要

創業:1946年／**所在地**:福岡県糟屋郡新宮町／**資本金**:9,946万円／**従業員**:226名（2022年4月現在）／**事業所**:（本社）福岡県糟屋郡新宮町（支店）福岡、北九州、唐津、苫小牧（営業所）北九州、飯塚、佐賀、熊本、大分、沖縄／**グループ企業**:筑陽精機工業株式会社、壱岐重販株式会社、有限会社田代自動車整備工場、株式会社ゼクセル販売九州、ケイ・シー・レンタル株式会社、株式会社福岡エルダースタッフ、高千穂産機株式会社

会社ホームページはこちらからどうぞ!

本社前(左から麻生英樹社長、麻生誠会長、柴戸会長)

戦後、4人の創業者が牽引車の製造からスタート

株式会社筑豊製作所は1946年、福岡県飯塚市にて麻生典太、関谷清一、森脇謨、中原範一郎の4人が中心となり、ディーゼルエンジン整備の専門会社として設立されました。創始者の1人で初代社長でもある麻生典太は、1940年に九州大学工学部を卒業後、自身の祖父・麻生太吉が興した麻生商店（飯塚市）に入社します。しかし、わずかその半年後に徴兵検査を受け、陸軍小倉造兵廠に配属され、戦車の製造を命じられました。造兵廠では、九州大学ヨット部の同期だった関谷と森脇も一緒になり、ともに汗を流すことになりました。

戦後、彼らは戦車工場で得た知識を活かして自動車の整備工場を立ち上げることにします。そこで小倉造兵廠の経営幹部候補生でもあった中原を誘い、麻生鉱業（元麻生商店）の車庫内の木炭工場の一部を借りて創業しました。まずは、小倉造兵廠から払い下げで得た戦車を改造した牽引車の整備を行ったことで、まだ当時未舗装だった道路で転落したトラックやバスなどを牽引車で引き上げるといった依頼が、昼夜を問わず舞い込むようになります。

翌年の1947年には、戦後の復興特需を受けて、ブルドーザーや油圧ショベルおよび機関車の整備を開始します。しかしながら、まだ資金面では余裕のない時期が続きました。

ディーゼルエンジン整備で飛躍建設機械で着実に業績を上げる

1949年、国産ディーゼルエンジンを手掛けるヂーゼル機器株式会社（現ボッシュ株式会社）と特約代理店契約を締結。これが最初の大きな転機となります。その頃、ディーゼルエンジンを搭載したトレーラーバスが開発され、地元の西日本鉄道が路線バスに採用し、福岡～飯塚間を走っていました。当社がこの整備を担当することとなってから、経営は少しずつ安定していったのです。1950年にはさらなる発展を目指して、福岡市東浜町（現在のゆめタウン博多の海側隣）に本社および

5

3

1

6

4

2

工場を移転すると、1956年の株式会社小松製作所を皮切りとして、株式会社神戸製鋼所などの大手メーカーの整備指定工場の契約を次々と締結していきました。

その後は当社の事業の源流であるブルドーザーや油圧ショベルなどの建設機械を中心に、発電所や工場内のクレーンの設置など、着実に業績を上げていきました。その結果、1958年には当時の運輸大臣から1種整備工場の認定を受け、1961年には航空自衛隊から指定整備業者の指定を受けるなど、ディーゼルエンジンの整備も本格化しました。

その勢いに乗って小倉工場を新設。1960年から始まった宮崎県一ツ瀬ダムの建設も追い風となり、現地に作業所を開設し、建設現場に集まったブルドーザーや油圧ショベル、ダンプトラック、ケーブルクレーンなどのメンテナンスを一手に引き受けていきます。1963年には、当時の福岡陸運局長から指定自動車整備業者の指定も受けました。

麻生誠会長

1975年には東海道新幹線開通に先立ち、新幹線博多総合車両基地の車軸大修設備の新設工事を受注したのを機に、機械器具設置工事業の県知事認可を受けました。その後も、土木、建築、電気、造園、消防設備工事業を含めた建設大臣(当時)許可を受け、事業をさらに拡大していきました。

確かな技術開発力で時代の幅広いニーズに対応

現在は、福岡県糟屋郡新宮町にある本社工場を中心に、九州や北海道にも支店を持つなど、会社規模は大きく成長しました。事業の幅も船舶用、産業用、冷凍機用とあらゆるディーゼルエンジンの販売から納入・据付、保守、点検、修理、馬力試験、移設、換装までを

11

9

7

10

8

1.対談風景／2.敷地模型を見ながら工場の全体像を説明／3.4.5.6.7.8.工場の見学風景／9.過去の実績を説明／10.食堂。充実した福利厚生施設／11.企業メッセージ

本社工場前にて。前列左から末永取締役総務部長、麻生英樹社長、麻生誠会長、柴戸会長、橋爪本店営業部長（福岡銀行、現・常務執行役員）、吉田総合営業第一部長（福岡銀行、現・博多駅前支店長）

一貫して手掛ける「エンジン事業」、クレーンから油圧ショベル、ブルドーザー、ミニ建機、基礎機械などの納入、据付、維持管理などのほか、用途に応じたアタッチメントの製作までも行う「建設機械・クレーン事業」、製造業の生産設備の要であるエアーコンプレッサー、冷凍食品製造および冷凍保管の要である冷凍機、工作機械などを手掛ける「産業機械事業」を展開しています。

それらに加え、もう一つ重要なのが「技術開発事業」です。創業時より技術開発に全力を注いできた当社のモットーは、いわゆる企画品ではなく、お客様のニーズや地域特性にマッチした付加価値の高い商品を提供することにあります。また、環境関連や特殊機械、プラント工事分野において、受託製作を請け負っています。最近では、災害に備えたデータセンターの非常用電源設置も増えており、時代と共に求められる技術を確実に提供できるよう努めています。

大型機械対応の北九州工場が完成
常にチャレンジャーであり続ける

設立35周年に当たる1981年6月、この節目に若返りを図り、さらなる飛躍を目指そうという思いのもと、私が父から社長を引き継ぎました。以来、現社長の麻生英樹に引き継ぐまでの約40年間、社長として会社の維持・発展に尽くしてきました。業務拡張のため、1994年の本社工場移転などを成し終え、私たちの事業は確実に実績を重ね、建設機械業界・産業機械業界において高い評価をいただくまでに成長できたことを大変嬉しく思っております。

麻生英樹社長

2020年11月には、北九州支店および北九州工場を、これまでの北九州市小倉北区西港町から戸畑区中原に新築移転しました。ここは、床耐荷重700トン、天井高14メートル、20トン天井クレーン揚程11メートルと、建設機械・鉄道・船舶の各種大型ディーゼルエンジン、大型建設機械、産業機械に対応できる設備を導入しています。8,000馬力のディーゼルエンジンのパワーテストも可能で、所管庁の定める各種試験に適合しており、整備完了後の試験のほか新規エンジンの性能証明にも対応しています。

当社は1978年、まだ初代社長である麻生典太のころに「人知無限」を社是として掲げました。これは、人の知恵は無限であり、皆で知恵を出し合ってあらゆる課題を解決していこうという願いが込められています。この言葉を胸に、常に若々しいチャレンジャーであり続けたいと思っております。

当社は今年6月で76周年を迎えます。今後も、これまで積み上げてきた技術と実績をベースにして、時代とそして地域社会とともに成長する、創意と活力あふれる企業であり続けたいと思っています。

■ インタビューを終えて

福岡銀行　取締役会長　**柴戸 隆成**

「人知無限」を社是に、優れた技術開発力であらゆるニーズに応えてこられ、今では大型機械のあるところになくてはならない存在になられています。

北九州支店・工場の新築移転で、さらに大型かつ幅広いニーズに対応できる環境を整えられました。今後も、最新かつ最高レベルの設備を基盤に、ますます発展されることを願っています。

Top Interview

トップに聞く！

熊本銀行

道路、鉄道、ダムの建設に不可欠な砕石事業で、地域のインフラ整備に貢献する。

有限会社 辻産業（つじさんぎょう）

代表取締役社長
中田 博基（なかた ひろき）氏

取引店／熊本銀行 出水支店

■会社概要

創業:1946年／**設立:**1947年／**所在地:**鹿児島県出水市／**資本金:**900万円／**従業員:**42名／**事業内容:**砕石製造販売、リサイクル材販売、一般貨物運送事業、指定管理運営事業／**関連会社:**有限会社ツジケン、株式会社ツジテック

本社前(左から中田社長、野村頭取)

ルーツは呉服店
祖父母が戦後に創業

私たち辻産業グループは、砕石の製造販売を行う有限会社辻産業、建設業を行う有限会社ツジケン、電子部品の製造を行う株式会社ツジテックで構成されています。当グループの歴史を振り返ってみますと、古くは呉服店を営んでいました。呉服店では反物を中心に販売しておりましたが、関連商材として下駄を販売していました。時代の移ろいとともに反物の販売から次第に下駄の製造販売へと商売の中心が移り、戦後の1946年、私の祖父母の代で製材所を建てて製材業「辻産業」を興しました。ここが当グループの原点となっています。

その後は、製材業を営む過程で住宅資材を供給する建設業界との関わりができていき、1968年に建設業を始めました。それが現在の有限会社ツジケンへとつながります。そして建設業と並行して、1972年には電子部品製造業へも進出しました。これが現在の株式会社ツジテックにつながります。電子部品製造業は当グループの主幹事業とはまったくの畑違いとなる分野でしたが、腕時計や釣り具の部品の加工を手掛けたのです。

さらに1975年には砕石事業を開始しました。日本の高度成長に伴って高速道路や鉄道、ダム建設などで必要となる砕石の需要が増大しており、許認可を受けた採石場から砕石を採取する砕石事業へと参入。それから主要な事業になりました。

祖父母が他界したのを機に製材所は閉鎖したものの、当グループは現在、砕石事業、建設業と電子部品製造業の3つの柱で形成されています。

良質な骨材資源に恵まれて
用途に合わせた製品を幅広く供給

砕石事業についてですが、山間部の採石場から採取した砕石は、プラントでさらに砕いて

5

3

1

6

4

2

様々な大きさの石や砂に形を変え、それぞれ一定の大きさに分けたものを取り揃えています。

建築資材として使用されるコンクリートですが、セメントと水、そして砂利や砂など「骨材」と呼ばれる砕石を混ぜてできています。コンクリートの重量比ではおよそ7～8割を占めるほど多くの骨材が使用されるのです。

それから、採石するための山はどこでもいいというわけではありません。採取できる石の種類や物性などの基準が決められています。

さらには、同じ砕石と一口で言っても、コンクリートに向く砕石、アスファルトに向く砕石、土木用に向く砕石、と石の種類によって特徴があります。

当社の場合、良質な骨材資源が確保できる採石場に恵まれているため、コンクリート用、アスファルト用、土木用と幅広く対応し、販路が多岐にわたっているのが強みです。

砕石事業の最盛期に鹿児島県内におよそ70社あった砕石業者も、現在は半分ほどの数になりました。当社は品質と販路に恵まれたこともあり、こうして現在も主要な事業として成り立っています。

中田社長

砕石の供給を通じて地域の人命と財産を守る

当社の砕石の多くはコンクリートやアスファルトの骨材として利用されるため、一般の方々の目に触れることはあまりありません。ですが、コンクリートやアスファルトは、私たちの周りに当たり前のように存在しています。道路、

11

9

7

10

8

1.対談風景／2.ツジテック工場を見学／3.4.5.6.7.8.9.砕石工場を見学／10.40トントラックを前に記念撮影／11.企業メッセージ

前列左3人目から慶越（けいごえ）常務取締役（ツジテック工場長）、中田社長、野村頭取、佐渡支店長（熊本銀行）、中田取締役

トンネル、橋、空港の滑走路など交通インフラの基盤となる場所や、住宅やマンションを始め、駅や学校などの公共施設、商業施設といった生活に欠かせない建物にも使われています。そういった意味では、当社の砕石事業は社会インフラを支える事業だと自負しています。

それをとくに実感した経験は、2006年7月の鹿児島県北部豪雨でした。川内川（せんだいがわ）の治水を目的として建設された鶴田ダムは、九州最大規模を誇る重量式コンクリートダムですが、この豪雨による水害をきっかけに洪水調節容量を拡張する再開発が行われました。この時に多くの砕石が必要となりました。当社の事業とは、尊い人命と地域生活者の財産を守るための事業である、と再認識した出来事でした。

電子部品事業においても高品質な製品に挑戦して貢献

1972年に開始した電子部品の製造部門

はその後、売上の面では当社の主力事業にまで成長したことから、「株式会社ツジテック」として1991年に分社化しました。

現在は、事業開始当初からは大きく進化して、高度な配線基板の製造工程の一部と最終部品の検査を担っています。このようなセラミック基板は、いわゆるガラケー時代からすでに携帯電話に組み込まれていましたが、スマートフォンの性能向上に伴って用いられる数が増えています。

今ではスマートフォンだけでなく、電波を送受するような仕組みに広く用いられており、自動車のキーレスエントリー機能、ナビゲーションシステム、家庭用ゲーム機、ブルートゥース対応イヤホンなど、だれもが日常的に使っている物に搭載されているため、市場は拡大しています。

日々進化する先端技術に追従するのは多大な労力を要することもあり、他の事業とはまったくの別分野ですが、社会により幅広く貢献できる実感を原動力に変えながら、取り組んでおります。

地域との共生を図りながら なくてはならない企業へ

当社では昨年、2002年以来となる砕石場開発区域の拡大を図りました。地域の方々のご理解をいただかなければ、当社の事業は継続できません。加えて、清掃活動、河川への在来カニの放流、ウナギの生態調査協力など、地域の自然環境を育み守る取り組みにも全社を挙げて注力しています。

これからも、災害に強い社会のインフラを整備していくための資源供給と関連分野への進出を通じて、地域になくてはならない企業を目指してまいります。と同時に、地域の雇用促進を意識しつつ、従業員の物心両面を豊かにする職場づくりにも引き続き取り組んでまいる所存です。

■ インタビューを終えて

熊本銀行　取締役頭取　**野村 俊巳**

終戦後の混乱期にもかかわらず、出水の地で製材業を創業された後、時代の移ろいに合わせて、砕石事業、建設事業、電子部品製造事業と業容を拡げ、三代にわたって社業を発展させてこられました。

主要事業である砕石業においては、鹿児島県ならびに熊本県の高速道路網、鉄道事業、ダム・治山工事を始めとする社会インフラの整備を支え、地域社会の発展に寄与されています。これまで積み上げられた実績と信頼をもとに、よりいっそうの躍進を遂げられることを願っています。

Top Interview

トップに聞く！

十八親和銀行

日本の伝統文化を継承し、自然との共存を大切にし、「やすらぎとくつろぎの住まい」を提供する。

株式会社 谷川建設

代表取締役
谷川 喜一 氏

取引店／十八親和銀行 本店営業部
福岡銀行 長崎支店

■会社概要

創業:1971年／**設立:**1971年／**所在地:**長崎市／**資本金:**1億円／**従業員:**424名／**グループ会社:**株式会社谷川商事、株式会社マルキ開発、株式会社ティーズデザイン

会社ホームページはこちらからどうぞ!

本社前（左から谷川社長、山川頭取）

お客様と一緒にゼロの段階から丁寧に家をつくり上げていく

当社は、長崎県・五島で1971年2月に祖父・吉五郎（きちごろう）が経営していた谷川商事の住宅部として誕生したのが始まりです。その後、父・弥一（やいち）がその住宅部門を独立させ、同年12月に、長崎市昭和町で株式会社谷川建設を設立しました。以来、「檜の家づくり」にこだわり、檜をつかった木造注文住宅を手掛けてきました。

1975年には佐世保支店を開設し、長崎県内への販路を拡大すると同時に、1978年には九州経済の中心地である福岡にも進出。福岡県内の各地に支店や営業所を開設しながら、当時、地方の住宅会社では難しかった提携住宅ローンの実現、大規模な土地購入による分譲、テレビコマーシャルによる告知など、今では当たり前になっているようなことに次々とチャレンジし、さらに熊本や佐賀、鹿児島などにも拡大していきました。

創業した当時は高度成長期の影響で、戸建住宅建築がブーム。まさに「建てれば儲かる」と言われた時代で、実際には国内で建築される戸建住宅の中には問題のある住宅も多くあり、そのため住宅建築業は「クレーム産業」とも呼ばれるほどでした。その中で当社は、利益を生むことよりも、「住宅とは何か」を大切にし、お客様と一緒にゼロから家をつくり上げていく「丁寧な姿勢」を貫き通してきました。

そして、もう一つ貫き通してきたのが「檜の家づくり」です。檜は日本では遥か昔から重要な建築に欠かすことのできなかった木材の一つであり、伐採された後も約200年にわたって強さを増していきます。強く美しく歳月を超えて生き続ける檜の家と同じように、私たちもまた、檜へのこだわりを日増しに強固にし、より一層心の安らぎが得られる家づくりに邁進していきたいと考えています。

「ウッドショック」の中で安定した供給を目指して

私自身は大学を卒業後、大手ハウスメーカーを経て、26歳で父から社長を引き継ぎました。実は父も19歳の時に谷川建設を設立

5

3

1

6

4

2

していたため、若くして経営に携わることには「メリットもデメリットもある」と教えられました。「3代目は身上を潰す」の言葉があるように、3代目となる自分を心配していたようです。

社長就任後、2008年のリーマンショックの時には確かに影響は受けましたが、そんな時こそ「ピンチをチャンスに変えよう」という思いで新しいことにチャレンジし、幾多の苦難を乗り越えてきました。

順調に成長を続けてきた当社ですが、木材の価格高騰、納期遅延等が発生する、いわゆる「ウッドショック」の波が現在押し寄せています。アメリカや中国の住宅需要の増加のみならず、新型コロナウイルス感染症拡大による物流の停滞、さらにはロシアのウクライナ侵攻や円安の影響も出始めています。

当社が使用する国内屈指の品質と言われる長野県の木曽檜をはじめとする国産の檜などにも影響を及ぼしており、多くの会社で確保が困難と厳しい状況下、これまで培ってきた経験、信用、信頼を基に材料確保に各所奔走した結果、今のところ材料不足による建築計画の遅延などは起きていません。今後の状況を注視しながら、これまで通り、お客様に満足いただける木造戸建住宅をお届けできるよう、これからも励んで参ります。

谷川社長

50周年から次の50年へ「次の谷川」に向けての挑戦

会社設立から50期を迎えた2021年、この年を「第2の創業」と位置づけ、「これから50年の谷川」をいかに築いていくべきかと考えています。

11

9

7

10

8

1.対談風景／2.3.4.5.6.本社ショールームを見学／7.当社の家づくりの特徴を活かし省エネに特化したスマートコミュニティ（スマートガーデン エテルナ女の都）／8.9.10.大村市に5月21日・22日にグランドオープンを果たした当社初の単独平屋展示場の外観とテラスと室内／11.企業メッセージ

本社ショールームにて。最前列左から西村取締役経理部長兼経営企画室長、谷川社長、山川頭取、三浦本店営業部長（十八親和銀行）

これまでの事業を大切にすると同時に、現在業界全体で好調な分譲事業にもさらに進出しようと、福岡市を中心に土地の購入にも積極的に動いています。また、子育て世代からシニア層まで人気の高い平屋住宅のプランも充実させました。

２０２２年５月には当社初の単独平屋展示場が長崎県大村市にオープンしております。木を知り尽くし、家づくりのプロである私たちだからこそできる、檜をはじめ木が持つ魅力を活かした平屋モデルハウスを、ひとりでも多くの方に、是非来て見て体感して頂きたいと思っています。

より多くの方に、当社の家づくりを知ってもらおうと、30代のファミリー層向けのアプローチも積極的に展開しています。これまでのテレビや新聞への広告出稿に加え、現在はＳＮＳをはじめとするインターネットを活用した広報活動を充実させています。また、今後さらに九州エリアで地盤をより強固にし、九州から他エリアにも進出していければと考えています。

事業を通じた地域貢献
社員が能力を発揮できる組織づくり

祖父が創業した当時、多くの若い人たちが就職のために島を離れていく姿を見て、「地元の人の雇用をなんとか生み出したい」との考えから五島で創業したそうです。その思いを今も受け継ぎ、当社では毎年、地元の高校卒業者を積極的に採用しています。2022年度は27名の新卒採用のうち、6名が高校卒業者です。

1・2級建築士、宅地建物取引士、ファイナンシャルプランナーなど、営業職や技術職に必要な資格取得も積極的に支援しており、社員が成長できる環境、社員が能力を発揮できる組織作りをこれからより整えていきたいと思っています。

当社の家づくりは50年前から変わらず、国産材を使い、使った分の木材は植林をする、「伐って、使って、植える」の循環になり立ち、大工や左官など日本古来の職人の手による、林業や森林や伝統を維持するSDGs的視点で行われています。これまでの家づくりに加え、「事業を通じた豊かな地域・社会づくり」「社員が能力を発揮できる組織づくり」にも注力し、SDGsを社内外で推進していきたいと考えています。

2016年の熊本地震発生時には、近隣拠点からすぐに応援に駆けつけ、地震直後から被災したお客様を1軒1軒お伺いし、修理などの対応に当たりました。

予測不能な災害発生時も、各地域の拠点をしっかりと固め、迅速な対応を行い、我々の事業を通じ、お客様・社員に安心・安全を少しでも強く感じてもらいたいと考えております。

最後に、当社のモットーとして、どのように難しい課題・ご要望であっても、いかにお客様のご希望に寄り添えるかを常に考え、ご提案をさせて頂いております。それは「家」や「住まい」「暮らし」に対する想いは、ご家族でそれぞれ異なり、そして強い想いがあるからです。お客様との信頼関係を大切に築きながら、その想いを設計担当者がまとめ、工事担当者が丁寧につくり上げる、「世界に1棟しかない家づくり」をこれからも誠心誠意お手伝いできればと願っております。

■ インタビューを終えて

十八親和銀行　取締役頭取　山川 信彦

施主様と一緒にゼロからつくり上げていく丁寧な対応と、日本の伝統である「檜の家づくり」で、長崎から九州を代表する木造注文住宅メーカーとして確かな信頼と実績を積み重ねて来られました。

これからの50年を「第2の創業」と位置づけられ、時代のニーズに対応した家づくり、販路エリアの拡大と、さらに新しい挑戦を始められています。ますますの発展を心よりお祈りいたします。

～法人向け脱炭素取り組み支援開始～
株式会社ゼロボードと連携協定を締結

2022年4月の
記事はこちら

2022年5月16日、ふくおかフィナンシャルグループ（以下、ＦＦＧ）は、法人のお客さまの脱炭素化へ向けた取り組みを支援するべく、株式会社ゼロボードとビジネスマッチングに係る連携協定を締結致しました。同社サービスを通じて、法人のお客さまの温室効果ガス（以下、ＧＨＧ）排出量算定を行うことができます。

２０２１年11月よりＦＦＧはＳＤＧｓ／ＥＳＧスコアリングサービス「Sustainable Scale Index」を提供開始し、ご利用になられたお客さまの課題が明らかになり、環境分野、特に脱炭素関連の課題において、お客さまの関心も非常に高まってきております。

また、気候変動対策に端を発する金融市場からの直接・間接的な要請や政府によるカーボンニュートラル宣言等により、企業の環境配慮型経営への移行圧力が強まっています。加えて昨今では、国内外で脱炭素社会の実現に向けた取り組みが進んでおり、お客さまにおかれましても、サプライチェーン上流の大手企業等から、ＧＨＧ排出量の開示を求められるケースが増加しております。

本サービスにより、お客さまのＧＨＧ排出量を算定することが可能になりますので、お客さまのカーボンニュートラルに向けた取り組みの足がかりとなることが期待されます。

具体的には、ＦＦＧは、お客さまに株式会社ゼロボードのＧＨＧ算定クラウドサービス「ｚｅｒｏｂｏａｒｄ」のご紹介を行い、お客さまのＧＨＧ排出量の算定を推進いたします。

燃料転換や電化、エネルギーマネジメントなど多岐にわたる脱炭素ソリューションの中から、それぞれの企業に合った施策を選定するためには、まず自社のＧＨＧ排出量の把握が必要です。その把握のために、ＦＦＧは、国際審査・認証機関がシステムの妥当性を保証し、数多くのソリューションパートナーとも連携している「ｚｅｒｏｂｏａｒｄ」をご活用いただきたいと考えております。

このたびの連携協定締結によりお客さまの脱炭素への取り組みを後押しするとともに、今後もＦＦＧは、外部パートナー企業を拡充しながら脱炭素ソリューションを展開してまいります。

GHG排出量算定から削減管理まで可能なクラウドサービス「zero board」

株式会社ゼロボードは、GHGの排出量算定と報告の国際基準であるGHGプロトコルに基づき、企業のGHG排出量の算定と可視化をするクラウドサービス「zeroboard」を提供しています。「zeroboard」は、お客さまが専用サイトにアクセスして、自社の電力料金やガス料金等をシステムに入力することで、その企業のGHG排出量が算定出来る仕組みです。

「zeroboard」は、国際的な審査・認証機関からシステムの妥当性の保証※を受けております。

（※国際標準化機構（ISO）が定めた温室効果ガスに関する主張の妥当性確認及び検証のための仕様・手引きに準拠した検証による）

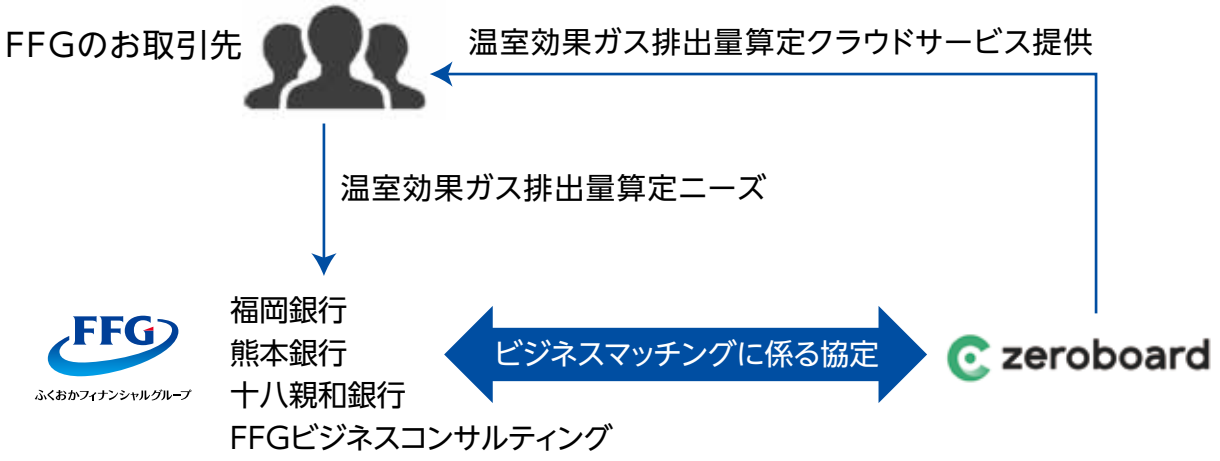
連携協定先概要

会社名　株式会社ゼロボード
代表者　代表取締役 渡慶次 道隆
所在地　東京都港区港南二丁目15番1号 品川インターシティA棟22階SPROUND
設　立　2021年8月
事業内容　温室効果ガス排出量算定・可視化クラウドサービス「zeroboard」の開発・提供／電力・環境価値に関するコンサルティング／ブランディング・キャンペーン支援

”zeroboard”はGHG排出量算定・開示業務の効率化と削減管理ができます

特長1	特長2	特長3
サプライチェーン排出量の算定対応	各種報告形式でのアウトプット	ダッシュボードによる削減管理
煩雑なデータ処理を必要とするサプライチェーン排出量や商品ごとのCO2排出量の算定	GHGプロトコルに基づく国際的な開示形式に加え、国内の各種環境法令の報告形式での出力が可能	視認性の高いダッシュボードによるCO2排出量の削減管理やコスト対効果のシミュレーション機能

GHG排出量算定におけるビジネスマッチングの流れ



地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、
観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取組んでいます。
今回は熊本市と連携した取組みをご紹介します。

官民が連携した歴史まちづくり活動の推進

今回は、熊本市が推進する歴史的資源を活用した「歴史まちづくり」に関する取組みについてご紹介します。

「歴史まちづくり」では、熊本市内の城下町地区・川尻地区の2つの地区を重点区域と定めています。2つの地区では、歴史的価値の高い建造物が残り、その周辺が一体となって良好な市街地を形成しています。

熊本城（国の重要文化財）

城下町地区は、国の重要文化財熊本城の眼下に広がるエリアであり、近代的な建物とともに、町屋・社寺・橋・路面電車などが一体となって風情ある町並みを形成している地区です。川尻地区は、緑川や加勢川などの河川沿いに位置し、古くから港町として栄えてきたエリアであり、史跡熊本藩川尻米蔵跡を核として、江戸時代の町筋が残るとともに、町屋や社寺などが集積している地区です。

長崎次郎書店（国の登録有形文化財）

これらの地区内では、歴史的建造物等を利活用する実証実験の実施や、アンテナショップの開業など、地元まちづくり団体を中心に、歴史まちづくりに対する機運が高まりつつあります。

そのような中、熊本市では、地元まちづくり団体による主体的な活動の推進を目的として、2022年5月27日に、地元まちづくり団体4社を「歴史的風致維持向上支援法人」に指定しました。今年度は、歴史的風致維持向上支援法人と行政が連携し、町屋等の所有者と利活用希望者との継続的

川尻地区　船着き場跡（国指定史跡）

なマッチング支援や、地域資源の魅力を伝える情報発信などに重点的に取組むこととしています。当事業を通じて、歴史的価値のある町屋等の一層の保存・利活用および次世代への承継を促進すべく、各種取組みを強化しているところです。

熊本銀行では、2022年2月に熊本市と締結した連携協定に基づき、地域振興に貢献する事業者向けに、長期的な資金サポートを目的として、まちづくりファンドの設立および専用融資の取扱いを開始しました。また、今年度から熊本市へ出向している熊本銀行の行員1名も、これらの事業に積極的に加わり、金融機関の知見を活かして、関係者の方々と連携して歴史まちづくりの推進に貢献していきます。

歴史的建造物等を利活用する実証実験（町屋 青空蚤の市）

城下町の風情を残す町並みと人力車

唐人町通り沿いの歴史的建造物

川尻地区の歴史的町並み

熊本市 都市建設局の皆様と熊本銀行の出向者 大塚（前列左）

市内8つの
歴史的風致に関する
ポータルサイト

城下町360°VR
プロモーション動画サイト

熊本銀行ソリューション営業部
（左から）山下、藤田
【お問い合わせ】TEL (096) 385-1280

FFGは地域が抱える課題解決や地域経済の活性化に取組んでいます

FFG地方創生の
取組み事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア
bank baton

地方創生に関するお悩みをご相談ください

●観光振興　●まちづくり
●産業振興　●エネルギー
●教育文化芸術　●ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254

Topics of the month

〝花火の力で世の中を元気に〟
ふくつ花火アートイリュージョンを開催します!

2022年7月23日(土)に、福岡県福津市にある玄海国定公園スピードパーク恋の浦で「ふくつ花火アートイリュージョン」が開催されます。

福岡銀行地域共創部では、ふくつ観光協会をはじめ、地域の事業者と連携しながら「ふくつ花火アートイリュージョン」の運営に企画から携わっています。

当イベントの目的は、「福津市の地域創生」、「開催により育まれる企業や人々との絆、コロナ禍で失われつつある子供たちの想い出の舞台の創造」であり、福津市の様々な企業と団体が本イベントを通じて地域を盛り上げるために企画を進めています。

メインイベントの「花火アートイリュージョン」では、6,000発を超える花火、20発以上の圧巻の尺玉、300mに展開して花火を打ち上げる大迫力のワイドスターマインにシンクロする光と音の旋律が福津市の夜空を彩り、幻想的な空間を楽しむことができます。

その他にも、「福津ご当地グルメキッチンカー」や「昔懐かしい縁日出店」、「福津を題材にしたクイズ大会」、「ゲーム大会」、「大道芸人たちのパフォーマンスストリート」といった大人と子供が一緒に楽しめるイベントを企画しています。

メインイベントの花火の後は、この日この空間でしか撮影できないフォトジェニックスポットで撮影する時間も準備しています。

コロナ禍でも来場者が安心して観覧できるように、入場者数の限定や席の指定を行い、感染症対策を徹底して開催いたします。駐車場も路上駐車対策を目的にすべて事前予約制となります。

※詳しくは左ページ広告のQRコードまたはイベントホームページにてご確認ください。

当日のタイムスケジュール

【OPEN 15:00~】
福津ご当地グルメキッチンカー・昔懐かしい縁日出店・ご当地アイドル大集合 花火応援ステージ

【EVENT 16:00~】
福津を題材にしたクイズ大会・ゲーム大会・大道芸人たちのパフォーマンスストリート

【SHOW 花火アートイリュージョン 20:00~21:00】

【LANDSCAPE PHOTO TIME 21:05~22:00】

【CLOSE 22:30】
イベントのフィナーレはクイズ大会で豪華景品をゲット

打ち上げ数
約6,000発

この夏、福津で新たな伝説が始まる

ふくつ花火アートイリュージョン

場所：スピードパーク恋の浦
（福岡県福津市渡641）

開催日
2022年
7.23（土）
OPEN 15:00
荒天時延期、延期予定日
2022年8月27日（土）

VIPスペース	120,000円（税込）	※1スペース4人まで可 ※ソフトドリンク・アルコール合計10本 ※リクライニングチェア付き ※模擬玉のお土産 ※場内駐車場1台含む ※VIP限定特典映像
S席 椅子あり	9,500円（税込）	
A席 椅子あり	8,000円（税込）	
B席	4,000円（税込）	
カメラ席	10,000円（税込）	

※全席、全エリア、有料観覧となります。無料観覧エリアはございません。
※花火アートイリュージョンのイメージです

FUKUTSU HANABI ART ILLUSION

VIPスペース・カメラ席のチケットはこちらから → ふくつ花火アートイリュージョン 検索 ※右上のQRコードから購入もできます

S席・A席・B席のチケットはこちらから → ローソンチケット https://l-tike.com/ Lコード【85032】
イープラス https://eplus.jp/fukutsu-hai/
※どちらでも購入可能です

- 特別協力 - 宮地嶽神社 - 協力 - HIS 福岡銀行 Makuake - 協賛 - ADisign Inc. Let's do something fun! キャリア教育支援団体 Stay Kyushu

- 後援 - 福津市 - 共催 - 一般社団法人ふくつ観光協会 - 主催 - ふくつ花火アートイリュージョン実行委員会

Produced by PEACSMIND × WAKINO ART FACTORY

Topics of the month

「FFG SDGs 外貨定期預金」の寄付金贈呈式を行いました

福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行のFFG3行は、SDGsへの取り組みの一環として、お客さまから外貨定期預金にお預入れいただいた際の為替手数料相当額を、SDGsの達成に向けて取り組む団体へ寄付を行い、贈呈式を行いました。

(左)日本赤十字社福岡県支部 後藤事務局長 (右)福岡銀行 成瀬常務執行役員

(左)福岡銀行 成瀬常務執行役員 (右)福岡県 江口副知事

(左)長崎県 浦企画部長 (右)十八親和銀行 艶島執行役員地域振興部長

(左)熊本銀行 野村頭取 (右)熊本県 田嶋副知事 © 2010 熊本県くまモン
(撮影日2022年5月16日)

FFG SDGs外貨定期預金とは、外貨定期預金をお預入れいただく際の為替手数料相当額を、SDGsの達成に取り組む団体等へFFG3行が寄付する商品で、2022年3月31日までお取り扱いをしておりました。

FFGならびにグループ3行は、今後もブランドスローガンである『あなたのいちばんに。』を実践し、お客さまのニーズにお応えした商品・サービスの提供に努めてまいります。

寄付先団体
独立行政法人 国際協力機構 (JICA)
特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP 協会
公益財団法人 日本財団 災害復興支援特別基金
日本赤十字社 ・公益財団法人 日本ユニセフ協会
福岡県 (新型コロナウイルス対策や災害復興等、持続的発展に資する施策へ寄付)
熊本県 (新型コロナウイルス対策や災害復興等、持続的発展に資する施策へ寄付)
長崎県 (新型コロナウイルス対策や災害復興等、持続的発展に資する施策へ寄付)

FFG SDGs外貨定期預金をお預入れいただきましたお客さま

［掲載にご了承いただいたお客さまのみ掲載しております（50音順、敬称略）］

福岡銀行

企業名	有澤建設株式会社
代表者	木下 英資
所在地	福岡市博多区
業種	建築工事業

企業名	K.ホールディングス株式会社
代表者	倉橋 髙治
所在地	福岡市中央区
業種	不動産業

企業名	株式会社情報機器
代表者	服部 誉朗
所在地	福岡市城南区
業種	オフィスコンサルティング業

企業名	大陽製粉株式会社
代表者	鹿野 晋
所在地	福岡市中央区
業種	製粉業

企業名	株式会社ＦＲＯＧ
代表者	武田 隆志
所在地	福岡市中央区
業種	不動産・システム開発・WEB制作業

企業名	株式会社三好不動産
代表者	三好 修
所在地	福岡市中央区
業種	総合不動産業

企業名	渡辺内科
代表者	渡邊 講一
所在地	佐賀県唐津市
業種	クリニック（内科）

企業名	株式会社えんホールディングス
代表者	原田 透
所在地	福岡市博多区
業種	総合不動産業

企業名	興永産業株式会社
代表者	津田 光博　津田 拓
所在地	福岡市城南区
業種	総合不動産業

企業名	株式会社セイワ地研
代表者	次田 武史
所在地	福岡市中央区
業種	総合不動産業

企業名	株式会社中村タイル商会
代表者	中村 正昭
所在地	福岡市早良区
業種	タイル工事業・卸売業

企業名	明星ビル株式会社
代表者	上原 和則
所在地	福岡市中央区
業種	貸ビル業

企業名	ラシン株式会社
代表者	原 直樹
所在地	福岡市中央区
業種	広告業

熊本銀行

企業名	株式会社オーファス
代表者	大森 敏雄
所在地	熊本市東区
業種	総合ビル管理業

十八親和銀行

企業名	医療法人博信会 たなかこどもクリニック
代表者	田中 博弥
所在地	長崎県佐世保市
業種	クリニック（小児科）

ふくおかフィナンシャルグループ
オンラインセミナー

これでもう迷わない!
デジタル化を進めるファーストステップ

企業を取り巻く経営環境は、2年以上に及ぶ感染症の流行や原油・原材料価格の高騰、人材不足といった供給面の制約もある中で、引き続き厳しい状況にあります。そのような状況の中、企業が抱える様々な課題の解決策としてデジタル化への取り組みに関心が高まっております。本セミナーでは、企業がどのようなことから取り組んでいけば良いのかについてお話しします。

Live配信
配信方法:Zoom

開催日	2022年7月15日(金)		参加無料
開催時間	12:00～13:00	定　員	先着300名

講演内容

各講演 約15分

FFGの「デジタル化支援」について

講師　株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
ビジネス開発部 部長　河﨑 幸徳

中小企業向けDXポータル「Mikatano ワークス」について

講師　株式会社マネーフォワード　マネーフォワードエックスカンパニー
コンサルティング部 DXソリューショングループ
グループリーダー　藤原 賢士 氏

銀行決済と連動した販売・仕入管理システム「EASYBIZ」について

講師　株式会社ふくおかフィナンシャルグループ
ビジネス開発部 主任調査役　末永 敦

※本セミナーはアーカイブ配信の為に録画を行いYouTubeへアップいたします。あらかじめご了承ください。

【主催】 福岡銀行　熊本銀行　十八親和銀行

お申込み方法

1. 下記URLもしくはQRコードよりホームページにアクセスの上、お申込みください。
2. 後日、お申込み時にご登録いただいたメールアドレスに受講用URL・ウェビナーID・パスコードをお送りします。
3. セミナー開始時刻になりましたら、受講用URLまたはZoomへアクセスし、ご案内したウェビナーID・パスコードをご入力の上、ご視聴ください。

お申込み期限　2022年7月14日（木）17：00まで

お申込み・お問い合わせ先

■福岡銀行 ビジネス開発部 デジタル化支援チーム

TEL092-723-2566

[受付時間]平日9:00～17:00 但し、銀行休業日は除きます。
https://www.fukuokabank.co.jp/forms/pc/dxseminar20220715

■熊本銀行 営業推進部 デジタル化支援チーム

TEL096-385-1141

[受付時間]平日9:00～17:00 但し、銀行休業日は除きます。
https://www.kumamotobank.co.jp/forms/pc/dxseminar20220715

■十八親和銀行 営業推進部 デジタル化支援チーム

TEL095-827-8242

[受付時間]平日9:00～17:00 但し、銀行休業日は除きます。
https://www.18shinwabank.co.jp/forms/pc/dxseminar20220715

ご注意事項

※定員がありますので、ご希望に沿えない場合があります。あらかじめご了承ください。
※ご参加されるお客さまには、別途URL・ウェビナーID・パスコード等をご案内いたしますので、メールアドレスは必ずご登録ください。
※セミナーには、Zoomを使用します。Zoomが利用できるインターネット接続環境をご準備ください。
※当日、セミナーへのアクセスは開始時刻の30分前からです。開始時刻までにZoomへの入室を完了してください。
※キャンセル・ご変更の場合は、必ず上記お問い合わせ先までご連絡ください。

ご確認事項

※お申込みいただいた情報は、福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行において、本セミナーの円滑な運営・管理およびアフターフォローの為に使用いたします。
※セミナーについてのビデオ・カメラ・スマートフォン等での撮影・録音・録画は固くお断りいたします。
※インターネット接続にかかる通信料は受講者さまの負担となります。
※通信環境は、光回線かつ有線で接続できるPCと環境を推奨いたします。通信環境によっては、音声・映像が途切れる等、障害が発生する可能性があります。
※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

2022年6月15日現在

ふくおかフィナンシャルグループ

為替セミナー

「世界経済のプロに聞く、激動する米ドル・円相場の見通し」

	長崎会場	福岡会場
開催日	2022年7月28日（木）	2022年7月29日（金）
会場（ハイブリット開催）	①出島メッセ長崎会議室110（長崎市尾上町4-1） ②オンライン（Zoom配信）	①福岡銀行本店4階セミナールーム（福岡市天神2-13-1） ②オンライン（Zoom配信）
時間	15:00 ～ 17:00（受付開始14:30）	
内容	テーマ 今後の米ドル・円相場の見通し 東京市場を代表する為替アナリストである佐々木氏が講演します。 プロの目から見た激動する為替相場の見通しおよび世界経済の展望をお伝えします。 講師 JPモルガン・チェース銀行 東京支店 市場調査本部長 マネジング・ディレクター 佐々木 融氏 【ご略歴】 1992年 ：日本銀行入行 1994年 ：同行国際局為替課で市場調査分析、為替介入担当 2000年 ：同行NY事務所外国為替市場を含めた、米国金融市場全般の情報収集・調査・分析担当 2003年 ：JP モルガン・チェース銀行チーフFXストラテジスト 2009年 ：同行債券為替調査部長 2010年 ：同行マネジング・ディレクター 2015年～：現職 日経ヴェリタス為替アナリストランキング2016年及び2018～2021年4年連続1位 	
参加費	無　料	
主催	ふくおかフィナンシャルグループ ・福岡銀行・熊本銀行・十八親和銀行・ＦＦＧ証券	
定員（先着順）	長崎会場 【会場】30名　【オンライン】70名	福岡会場 【会場】100名　【オンライン】150名
申込締切	2022年7月21日（木）	

参加をご希望のお客さまは、下記URLもしくはQRコードからお申し込みください。

https://www.fukuokabank.co.jp/forms/pc/seminar07

お申込み・お問い合わせ先

ふくおかフィナンシャルグループ 営業統括部 海外戦略企画グループ
（福岡銀行グローバルソリューション部）
〒810-8693 福岡市中央区大手門1-8-3
TEL.092-723-2515 担当：才田・宮本 （平日 9:00～17:00 但し銀行休業日は除きます）

申込コード

FFGビジネスコンサルティングの

ちょっと釣り道

［ 雲海に沈む湖のおさかな編 ］

Vol.11

由布岳に抱かれ志高湖に挑む筆者

※現在は釣り禁止

釣れるハズだったニジマス
（イメージ図）

春一番が吹く東京出張の朝、羽田行きのフライトは快晴だった。

南東風の時、福岡空港を発つ機は南向きに離陸する。機内モニターの画像に耳納連山の緑と筑紫平野の黄金色を縫うように流れる〝筑紫次郎〟・筑後川の青が映える。

「豊後水道上空のコースか…」サービスのコンソメスープの馥郁とした香りを楽しんでいると、窓の景色は雲海の上となり、雲間から由布岳とその先に九重、祖母山の峰々が突き出している。

筆者は、雲海の下にある高原の湖から由布岳を見上げた景色を思い起こした。

温泉県の大分、とりわけ全国的な観光地である別府市と湯布院町の間、美しく聳え立つ由布岳と鶴見岳の稜線に広がる高原地に、湧き水からできた志高湖はある。

昨年4月にひっそりと幕を閉じた、「志高湖フィッシング」という市公営の観光事業を思い返した。サケの仲間で淡水魚としては調理しやすく美味でトラウト・サーモン等と呼ばれ人気の「ニジマス」。元々日本に生息しないこの魚を天然の湖に放流して冬期だけ遊漁の対象とした事業は、気温が高い九州ではほぼ前例が無く、本州でしか成立しない湖でのマス釣りが可能となり、九州の釣りマニアの心は躍った。

ニジマスはサケ科冷水性の外来魚。中部以北では自然繁殖する例もあるが南国九州では放流しても1シーズンで死滅すると考えられていた。ところが長年の観測で、九州でも一定の条件下で放流後も生き抜くことが確認された。水深が深いカルデラ湖である鹿児島県の池田湖、宮崎県の御池など、深い湖底付近に水質の良い冷水域を持つ湖では、死滅せず再生産を繰り返していた。ここ志高湖は水深は浅いものの標高が高いため年間の平均水温が低い。ここならニジマスは生き延びれるのでは…。

あと一週間でその事業が終わり、その後は釣りができなくなる時に筆者はその湖畔に立っていた。雲ひとつ無い快晴で、日差しも強いものの春まだ浅き高原の湖畔は驚くほど冷え込む。朝から何度も何度も、細めだがしっかりと重量のある金属製のスプーンを放射状に投げ続け、回遊してくるニジマスがそれを見つけ食ってくるのを待つ。魚がそれを見つけても反応しないかもしれない。それでも次の一投には必ず魚からの魚信が来る事を信じ投げ続けるのだ。

陽が傾き、由布岳は雲に隠れ辺りは少し暗くなった。不意に竿先をひったくる様な衝撃が襲い、白い釣竿は重量がある魚体の尾びれの躍動を一瞬確かに伝えてきた。でも、それっきり生体反応は消えてしまった。「ダメだったか…でももう時間も無い」もうここで釣りはできない。行政が観光事業を見直す流れで、この事業は再開するかもしれない。でも、釣りができるできないとは関係なく、この湖に否応なく放たれ新しい世界で生き抜くことを強いられたニジマス達が、永らく生き延びて美しく力強く成長し、いつしか筆者の前に現れてくれることを心から願ってしまう。

まもなく串本上空を通過するとの機長のアナウンスにふと我に返る。眼下には、これも黄金色の淡路島が、早春の朝の日差しを受けて大阪湾に輝いていた。

File.15

地銀9行
連携
レポート

京都府福知山市における遊休公有資産の活用
～「廃校マッチング」の実施～

今回は京都府福知山市の廃校活用に向けた取り組みをご紹介いたします。

京都銀行

京都府の北西部に位置し、由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市。天正7（1579）年に明智光秀が福知山城を築き城下町として栄えた。以後、明治末期までに大阪・京都への鉄道が開通し、北近畿の交通の要衝として、また商都としても発展してきた魅力あふれる町である。

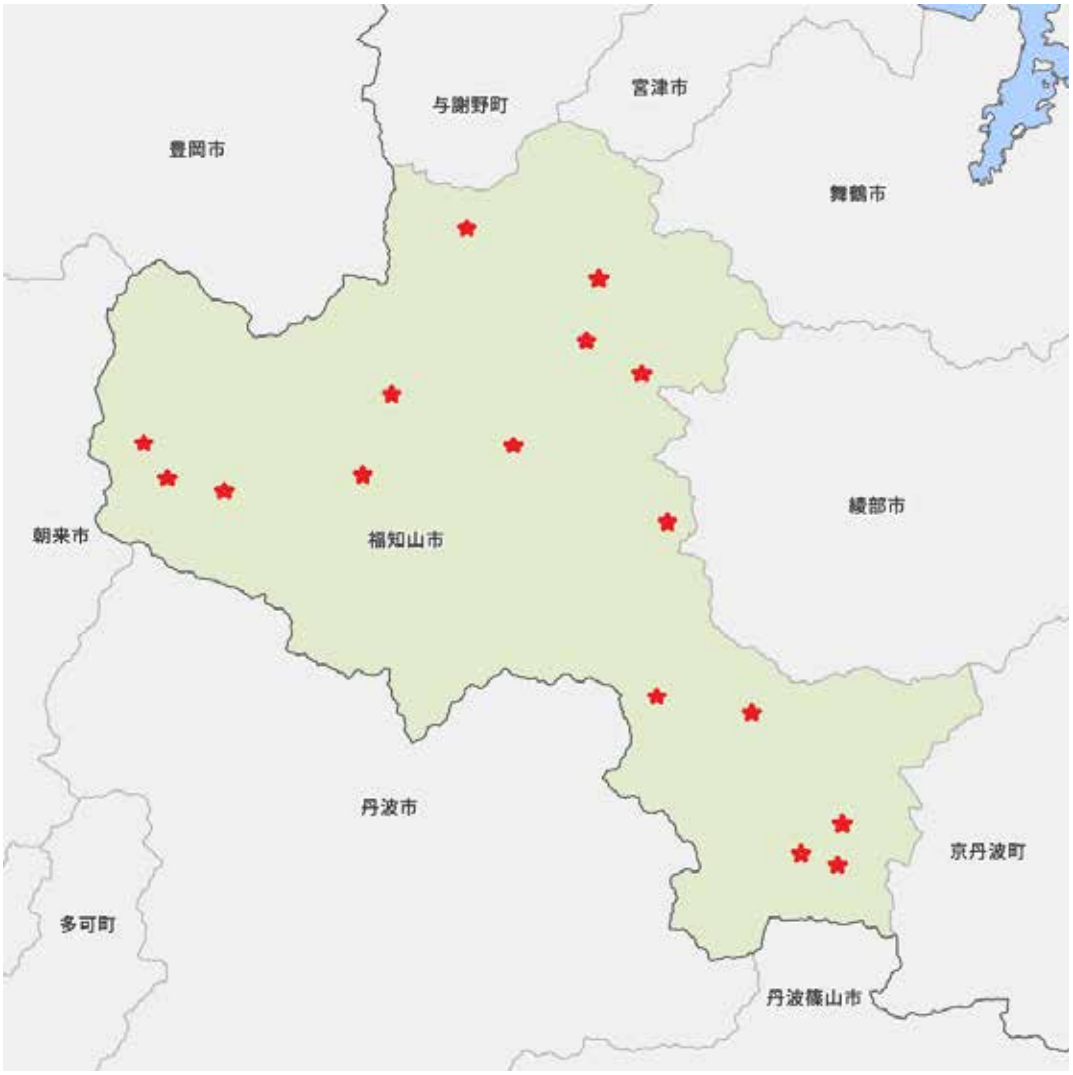
この福知山市において公民連携により、遊休公有資産の一つである「廃校」に着目したユニークな取り組みが行われている。

取り組みの背景

2017年に、京都府は公民連携の推進に向けて「京都府公民連携プラットフォーム」を設立している。当プラットフォームに参加している福知

▲廃校の一校である旧菟原小学校

▲「公民連携促進に関する連携協定」締結



▲福知山市内の廃校分布図

山市は公民連携の取り組みを一層強化することを目的として、地元金融機関である京都銀行、京都北都信用金庫と２０２０年８月に「公民連携促進に関する連携協定」を締結した。福知山市では過疎化により廃校になった学校が16校あり、地域の賑わいに空洞が生じることが課題となっている。遊休公有資産である廃校の民間活用を促進することで企業進出や新たな事業創造を後押しし、地域の賑わいや雇用の創出につなげるべく取り組みがスタートした。

「廃校マッチングバスツアー」の実施

まず、民間企業が廃校の活用にどの程度関心があるのか、京都銀行によって取引先約１，３００社に対し廃校活用に関するアンケート調査が行われた。

続いて廃校活用に関心を寄せる企業と福知山市とのマッチングを目的に、実際に廃校の中を見学し、福知山市職員から説明を受けることができる「廃校マッチングバスツアー」が実施された。２０２０年10・11月の実施時には募集定員30名に対し約１２０名もの応募があり、関心の高さ

▲「廃校マッチングバスツアー」の様子

▲「地域アイデアワークショップ」の様子

がうかがわれた。

「廃校マッチングバスツアー」は2020年度・2021年度に計3回実施され、廃校活用を検討する約80社のマッチングとサウンディング調査が行われた。

取り組みの成果と今後の展開

協定締結後に活用が決定した廃校は、行政利用も含めて6校となり、一定の成果が出ている。

2021年度からはマッチングの確度を高めるため、伴走支援型の「廃校リノベーションバージョンアッププログラム」がスタートした。同プログラムの第1弾として2021年7月に「廃校マッチングバスツアー」が実施され、続いて、内閣府補助事業「地方創生カレッジ」の「地方創生イノベーション発想塾」の枠組みを活用し、AIを用いて廃校活用のアイデアを考える「地域アイデアワークショップ」、廃校活用を検討する事業者とともにアイデアを磨き、具体的な活用イメージを描く「アイデアブラッシュアップワークショップ」が開催された。

以上の事例は、遊休公有資産である廃校を民間企業と連携して解決する公民連携の取り組みである。こうした取り組みがますます広がっていくことが期待される。

（文責：株式会社京都総合経済研究所）

▲「アイデアブラッシュアップワークショップ」の様子

日本全国　県境・地域を越えた「様々なビジネスニーズ」にお応えします！

このようなビジネスシーンでお困りではありませんか？

お客様（事業法人）

ニーズ	ソリューションの一例	
北海道の特産品を仕入れたいけど、どうすれば？	北海道の卸売業者を紹介 北海道の食の商談会を案内	ビジネスマッチング
物流コスト削減のため、関東エリアで品質・コストが見合う外注先が見つからないか？	協定銀行の自行取引先から、関東エリアの該当企業を紹介（1～複数社）	
広域展開による事業拡大に伴い銀行取引も拡大したい	展開エリアにおける協定銀行を紹介	金融取引（資金供給）
東北エリアで自社のフランチャイズ展開をするオーナーの経営サポートを依頼したい	展開エリアを基盤とする協定銀行にサポートを要請	
会社の後継者が不在で、事業の承継先を探したい	協定銀行間で条件等にマッチする対象企業を探索し、紹介	M＆A・事業承継

お取引銀行 ⇔ 連携・協力 ⇔ 地域再生・活性化ネットワーク（地銀9行）

全国の地銀9行連携「地域再生・活性化ネットワーク」について

経営基盤・営業エリアが異なる地銀9行が、様々な情報・ネットワークを相互に活用することで、地域経済の再生および活性化を図るために構築した広域連携です。

県境・地域を超えて活躍する（今後検討される）お客さまのビジネスニーズ等に対して、全国の各エリアをカバーする地域金融機関が連携・協力して対応していきます。

①複数の地方銀行による資金供給（シンジケートローン・協調融資等）
②他エリアの地方銀行のネットワーク情報を活用して、M&Aや事業承継における相手方情報をご提供
③ビジネスマッチング業務にかかる他エリアの地方銀行のお取引先等をご紹介

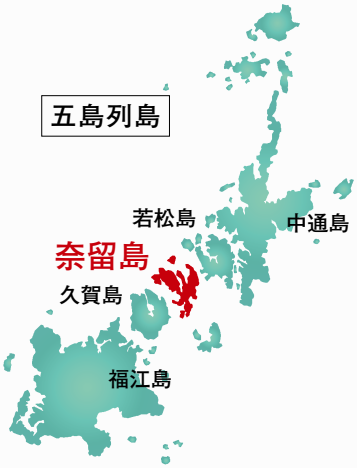
【注意事項】
●本ネットワークは、協定書を締結した地方銀行9行の連携・協力に基づき運営されています。ご利用にあたり、お客さまのご要望・ニーズなど、必ずしもご期待にそえない場合がありますのでご了承ください。（個別具体的なソリューションのご提供を確約するものではありません。）
●本ネットワークのご利用を希望される場合は、お近くの取引銀行窓口までお気軽にご相談ください。
（ご相談は無料です、但し、個別具体的なソリューションのご提供にあたっては、各銀行所定の手数料等がかかる場合があります。）

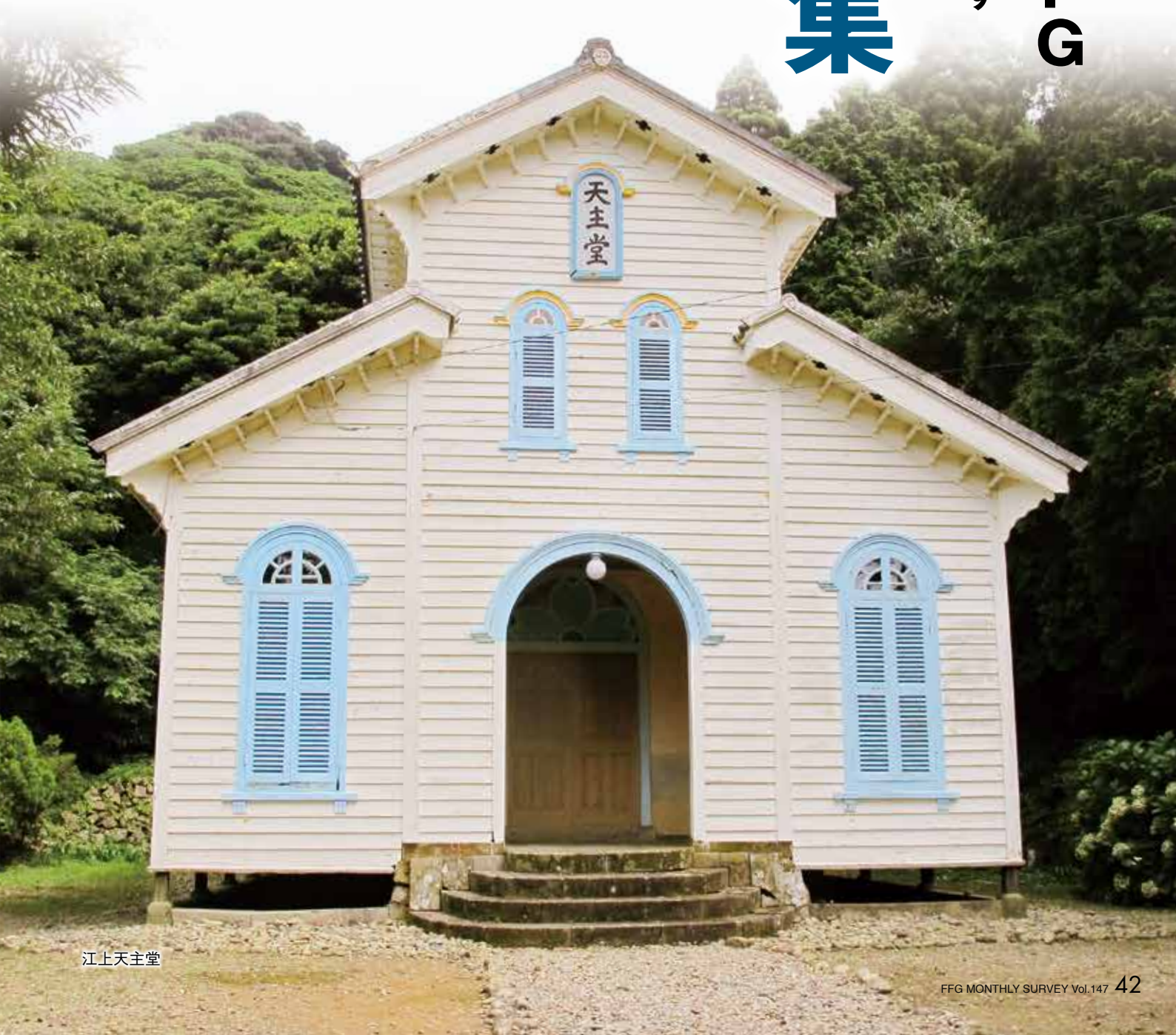
地域と共生するFFG

五島の豊かな自然が生み出す特産品のある島

奈留島特集

奈留島にある江上天主堂を含む集落一帯が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産「奈留島の江上集落」として世界遺産に登録されています。





江上天主堂

観光地として魅力あふれる奈留島

長崎県の五島列島のほぼ真ん中に位置する奈留島は世界遺産の構成資産の一部となっている他にも、有名な観光スポットや全国有数の好漁場として多くの魅力がある島です。

ユーミンの名曲が生まれた島

奈留島での有名な観光スポットのひとつとして「ユーミンの歌碑」があります。県立五島高校奈留分校（現・県立奈留高等学校）のひとりの女子生徒が荒井（現・松任谷）由実さんが出演しているラジオ番組に「学校に校歌がないので作ってほしい」と手紙を送ったことで生まれた名曲「瞳を閉じて」の直筆の歌碑が奈留高校に設置されています。遠くへ行った友達を思いやる島の人の心を歌ったこの曲は、その後、正式な校歌にはなりませんでしたが、卒業式には必ず歌われる愛唱歌として受け継がれています。

ユーミンの歌碑

島の新しい名物を作るプロジェクト

奈留島の近海は世界最大級の海流である黒潮と九州南西部で分岐する対馬海流（暖流）にはさまれ、潮の流れが速いため身が締まった魚が育ちます。奈留町漁業協同組合は、そんな豊富な海の恵みがもたらされている環境で育った魚を奈留島の特産品として気軽に持ち帰ってもらうために、五島市の地域活性化に協力していた高知のイタリアンシェフ森澤錠二（もりさわじょうじ）さんと「漁師のイタリアン」という水産加工品のブランドを開発しました。そのまま食べても美味しく、パスタに和えたり、バケットに乗せたり、サラダにしたりと、食卓を豪華にするアレンジが可能です。

漁協の関係者の似顔絵が描かれたパッケージのデザインは同じ長崎の離島・対馬で島デザイナーをされている吉野由起子（よしのゆきこ）さんが作成しています。

漁師のイタリアンは Webでも購入できます

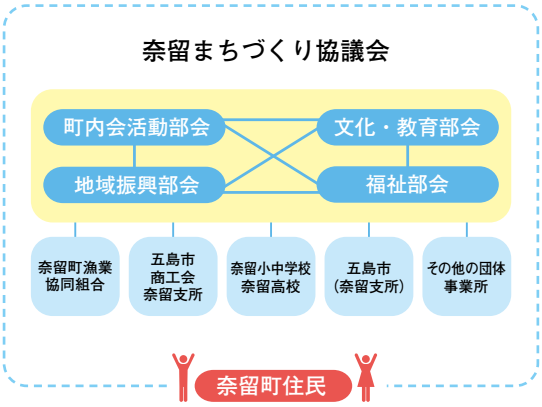
※数量限定のため、品切れとなる場合がございます。

「五島列島 おさかな市場」

奈留島の地域の取り組みについて

奈留島では、行政と地元民間組織が協力して「奈留まちづくり協議会」を設立し、奈留島の地域活性化に向けて取り組んでいます。

取り組みの内容は、島外から学生を受け入れ、豊かな自然と歴史の中で教育を提供する「しま・離島留学」の拡大推進や奈留島の情報ウェブサイト「mikke（ミッケ）」の構築運営など、奈留島の未来のことを考えてどのように発展させていくかを見据えながら、企画を進めています。



特産品と事業者紹介

肉厚なアジの一夜干し「まんまるあじ」

城山水産

奈留島近海の恵まれた環境で養殖される城山水産のアジは、餌にこだわり2年以上の期間を経て育てられるため、まるまると太っており初めて見たときはその身の厚さに驚かされるぐらい大きなアジです。その品質は、海外からも高い評価を受けています。

城山水産では、アジを生簀からあげたらすぐに締め、新鮮なうちに捌き塩をし、手作業で丁寧に一夜干しにした「まんまるあじ」を販売しています。

奈留島の人口が減少していく中で、島内での販売だけに限定せず、島外への販路拡大を目指してまんまるあじの魅力を発信したところ、身の厚さや新鮮な状態で加工する高い品質などが一般に出回るあじとは違うと評価されました。まんまるあじは東京の飲食店から需要があるほどの人気商品となり、奈留島を代表する特産品の一つとなっています。

まんまるあじは五島列島マルシェホームページで購入できます

※毎月数量限定の販売となっております。

城山水産の地域活性化のための取り組み

城山水産の城山健一郎氏は「奈留まちづくり協議会」の理事を務め、奈留島の地域発展に貢献する活動を続けています。その他にも、離島留学生の寮とコミュニティスペースを兼ね備えた「しまなび舎」を拠点として活動する一般社団法人「奈留しまなび舎」の理事も務めています。島にある唯一の県立高校「奈留高等学校」を存続させるため、離島留学生の寮生活のサポートや学習支援、子どもから大人までの多世代がコミュニケーションを取れる場の提供など、奈留島の未来を創る子どもたちが安全で健やかに成長できる環境を作っています。

城山健一郎氏

奈留島を盛り上げる!

土産品と木材加工体験を提供
三兄弟工房

奈留島の土産の代表として知られるのが「三兄弟工房」の木材加工品です。三兄弟工房は本業が大工の葛島三兄弟が来島者に思い出に残るお土産を持って帰ってほしいと設置した観光体験場です。２０１７年から三兄弟長男・葛島義信氏の長男・勝幸氏も奈留島にＵターンし、三兄弟＋１として経営しています。

代表商品の「でばヒラキ」やレーザーで焼き付けて作る木材加工品はすべて木目やデザインが異なり、お気に入りの作品を選ぶのも楽しみのひとつです。また、木工体験も楽しむことができ、でばヒラキやストラップ、バターナイフなどオリジナル作品を作ることができます。

※体験ご利用の際は事前に連絡が必要です。

お問い合わせ
ＴＥＬ ０９５９-６４-４０６６

三兄弟の家族が始めた宿「民宿 かどもち」
宿泊しても木工体験が楽しめます

代表商品「でばヒラキ」

三兄弟工房の地域活性化のための取り組み

三兄弟工房の「＋１」として働いている勝幸氏は、奈留島の人と周辺地域の人との交流を図り、人が集まる場所を作ろうと「ＨＡＴＡ-ＡＧＥ」を結成して活動しています。

ＨＡＴＡ-ＡＧＥは奈留島の若い世代が中心となって活動しており、奈留島を盛り上げるために「奈留島サンタラン」などのイベントを主催しています。

奈留島サンタランの参加費の一部は『江上天主堂』の維持・管理費として管理している奈留教会へと寄付しており、島のことを守る活動を続けています。

奈留島サンタラン
公式ホームページ
※企画が決まり次第
更新されます。

三兄弟工房長男の長男：葛島勝幸氏

奈留島×西海クリエイティブカンパニー×十八親和銀行

奈留島の魅力と将来について語る!

奈留町漁業協同組合
組合長
大久保（おおくぼ） 金政（きんせい）氏
【所在地】
長崎県五島市奈留町浦
1839番地7
https://www.jfnaru.com/

新たな名物の開発で奈留島に更なる魅力を

五島列島は黒潮と対馬海流にはさまれているため、豊富な水産資源に恵まれた全国でも有数の好漁場です。なかでも奈留島は、まき網漁業、一本釣り漁業、養殖漁業、定置網漁業を主とした水産業を基幹産業とする五島の中核的漁業基地であり、五島市内の漁協で唯一、水産加工事業を展開しています。

豊かな自然を活かした観光にも力を入れている当地ですが、2018年、江上天主堂が「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産として世界文化遺産に登録されて以来、観光地としてより注目されるようになりました。そこで、この機を捉えて島の活性化につなげようと、新しい名物をつくるプロジェクトに着手。高知でイタリアンを手がけるシェフとともにメニュー開発をおこない、島に水揚げされる鮮魚を用いた加工品が、2020年に誕生しました。「マダイのアクアパッツァ」「タコバジル」など7種類の料理を真空パックした加工品は「漁師のイタリアン」と命名。奈留島の新たな一面を伝えるおみやげとして好評をいただいています。

離島は高齢化と人口減少が課題といわれるなか、魅力発信のかいあってか、奈留島ではIターンによる就業者もいます。商品のオンライン販売などによって経営の近代化を図りつつ、水産加工品のさらなる開拓を始めとする多角的な漁業振興および島の活性化に引き続き取り組んでいきます。

株式会社 西海クリエイティブカンパニー
専務取締役
浪方（なみかた） 勇希（ゆうき）氏
【所在地】
長崎県西海市西彼町
喰場郷1686番地3
http://saikaicreative.co.jp/

多くの「資源」を活用して奈留島活性化を目指していく

当社「西海クリエイティブカンパニー」は、西海市の活性化を図るために、２０１７年に西海市、親和銀行（現・十八親和銀行）、民間の共同出資で設立された地域商社です。西海市に対する活動のノウハウを奈留島にも応用できないかと、十八親和銀行からお話をいただき、奈留島活性化のお手伝いを始めました。

奈留島は漁業を始め、水産加工品の製造、木工工芸品、真珠養殖、島留学施設など、特色といえる要素がいくつもあります。また、島の魅力を外に伝えたいと願う島民の「思い」の強さも、大きな「資源」だと感じています。さらに、「離島」を観光資源として考える時に、都市部からの距離がネックになると思われがちですが、「山奥の美味い蕎麦屋」と同じで、移動の目的さえ明確であれば、道中の長さも楽しい体験になります。住民と同じ当事者目線と、外からの客観的視点を巧く組み合わせながら活性化プランを練り、関係機関と強みを活かし合う役割分担で進めていきます。

手始めに、西海市で得た知見をもとに、ローカルウェブメディアを活用した情報発信に際して、「市民ライター」の養成を目指します。地域の人々が、その地域の魅力と可能性を等身大で捉え、域外に誇りを持って発信し続ける文化を根付かせること。これは、まちづくりという長期的な取り組みにおいて大変重要なポイントであると思っています。

十八親和銀行
執行役員
ソリューション営業部長
下田（しもだ） 義孝（よしたか）

ＦＦＧのネットワークを活かし地域商社の設立を

奈留島との関わりは、お取引先から奈留島の城山水産様をご紹介いただいたのがきっかけです。以前から「離島の活性化は、長崎で活動する地方銀行の責務であり使命である」と考えておりましたので、私どもでお手伝いできることを探るため、島へ伺いました。

訪問時に食べた城山水産様の製造するアジの一夜干しは、その肉厚な身の食べごたえとおいしさに驚きました。また、奈留高校では「離島留学」に力が注がれていて、受け入れのための学生寮、大学進学に向けた教育の場が、しっかりと整えられているのも知りました。

島の方々が銀行に寄せられる期待感の高さもあって、こうした島の多面的魅力を広く伝えるための活動をスタートさせました。まずは、水産加工物のブランディングから。島の水産業の中心である奈留町漁協をベースとした地域商社の設立に向けて取り組みを進めているところです。

ビジネスモデル構築に関しては、西海市の活性化で実績のある地域商社の西海クリエイティブカンパニー様と連携しています。設立を目指している商社では、将来的に複数の島民にも一員となってもらい、継続的な展開を図っていくつもりです。目指すは、収益と情報の域内循環が可能な「奈留島モデル」の構築。そのために地域金融機関として、地域の事業者・商工会・行政・大学などを繋げながら、協議を重ねています。

福岡銀行とFFGビジネスコンサルティングの取り組み

お取引先様の企業研修でセミナーを実施

株式会社やまやコミュニケーションズが社員に向けて定期的に開催している研修会で、2022年5月14日(土) 福岡銀行とFFGビジネスコンサルティングが参加しセミナーを実施しました。

福岡市東区に本社を構える辛子明太子の製造販売で株式会社やまやコミュニケーションズ(福岡銀行本店営業部取引先)では、社員育成のため月1回の研修を行う「やまやリベラルアーツプログラム」(以下、ＹＬＰ)を開催しています。ＹＬＰは、社員が社会人としての素養を身につけ、普段馴染みのない幅広い課題に興味や問題意識を持つ好奇心を醸成してもらい、自ら課題設定・解決のプロセスが設定できるようになることを目的とした研修プログラムです。業務で直接的に必要な知識・スキルというわけではありませんが、参加者は本人の学びたいという積極的な意思で参加しています。ＹＬＰは6期目※を迎え、毎回15名前後の社員が参加しています。

このＹＬＰの研修プログラムにおいて福岡銀行に講師として登壇してほしいとの相談があり、ＦＦＧビジネスコンサルティングとの共同にてセミナーを実施することにいたしました。

今回の研修では、数ある明太子ブランドの中で商品開発において他社との差別化を図るにはどうすればいいのかを考えてもらうことを目的に「マーケティングとブランディング」をテーマとしたセミナーをＦＦＧビジネスコンサルティングの藤井が実施。また、福岡銀行本店営業部の橋本が、これからのライフプランを考えるための金融知識や資産形成の方法のセミナーを実施しました。

セミナーには、山本社長をはじめ、若手から中堅まで幅広い年代の社員が参加、なかにはオンラインの参加者もいました。セミナーでは多数の参加者が積極的に質問するなど、モチベーションの高さが感じられる研修となりました。

普段から風通しのいい環境で、高い向上心を持てるような研修を行っていることが、社員の会社貢献意識醸成に繋がっているようです。

今後も福岡銀行とＦＦＧビジネスコンサルティングは、資金面だけでなく、従業員の皆様の将来の生活を考えた金融知識の向上を図るセミナーをはじめ、お取引先様の課題を解決するためのビジネスマッチングや人材の紹介など、様々な支援を行うことで地域経済の発展に貢献して参ります。

※コロナ前に5年実施し、2年空いて、2021年9月からまた実施しています。

FFGビジネスコンサルティング
副部長 藤井のセミナーの様子

やまや Communications 株式会社 やまやコミュニケーションズ

【経営者クラブ会員様限定オンラインセミナー開催のご案内】 FFG ふくおかフィナンシャルグループ

D.カーネギー著、「人を動かす」「セールス・アドバンテージ」に学ぶ、セールス・トレーニング

プログラム

- オープニングワーク
  会話のコツと、書籍「人を動かす」の知恵（人と簡単につながる方法）
- セールスとは「人間関係づくり」
- 営業活動の流れと、
  書籍 D.カーネギー「セールス・アドバンテージ」の知恵
  自分が強化したいプロセスの確認
- ヒアリング（4つの質問で核心に迫る）
- 提案（6つの提案ステップでクロージングに近づける）
  解決案作成（伝える内容）とプレゼン方法（伝え方）
- 反対意見への対処（反論処理）
- まとめ　コミットメント（今日から実践することの公約）

講師プロフィール

CNGWAY　代表

跡部（アトベ）　覚（サトル）氏

大卒後、大手計量・計測器メーカー（一部上場）にて営業職に従事し、BtoB営業、管理職を経験する。その後、人々の成長をサポートする人財育成分野に転職し営業職として経験を積む。そして、2011年に100年以上にわたり世界95か国で展開する世界最古にして世界最大級の組織開発コンサルティングファームであるデール・カーネギー・トレーニングに入社。コンサルタント（セールス）として、BtoB及びBtoC営業にて力を発揮する。約10年間にわたりトップを走り続け、2018年度には、世界8位の実績にてグローバルで表彰される。また、魔法のように人の成長を促すカーネギー流トレーニングの影響を受け、トレーナー養成トレーニングを修了し、現在はデール・カーネギーの公認トレーナーでもある。2021年よりCNGWAYとして独立し、カウンセリングや研修コンサルタントを行いながら、その豊富な営業経験を活かしトレーナーとしても活躍中である。

開催日時	対象	定員	配信方法
13:00-17:00　2022年 8月8日(月)・9日(火)・10日(水) 全日程同じ内容です。ご都合の良い1日をご選択ください。	若手社員・中堅社員	30名	Zoom

仕事・組織の本質を考える! 若手社員のための部下力向上講座

プログラム

1. 若手社員の豊かな発想と創造性を活かす（ワークショップ）
2. 職場での上司の状況、考え方を理解する
3. コミュニケーション力の強化（意味がある）を目指す

講師プロフィール

一般社団法人 日本経営協会　講師

野村（ノムラ）　ひとみ（ヒトミ）氏

野村Office主宰
国立教育研究所の所轄機関の研究員、また大手電気メーカー、航空会社、商社、テレビ局、サービス業等の実務を経て、人財の育成研修及び教育コンサルティング業務を中心とした野村Officeを設立。人財教育のプロとして、年間約200件の研修・講演会の講師として日本各地で指導する。現在は、中国における人財育成にも参画し、グローバルに活躍中。また、全国ビジネス実務学会正会員、日本マネジメント学会正会員、日本交流分析協会会員および研究員、大学非常勤講師、自治戦略・公共サービス改革委員、公益財団法人太宰府市国際交流協会副理事長として活躍中。

開催日時	対象	定員	配信方法
13:00-16:00　2022年 8月23日(火)・26日(金) 全日程同じ内容です。ご都合の良い1日をご選択ください。	若手社員	30名	Zoom

※12月6日（火）、12月8日（木）に上司編の開催を計画しております。

受講料　経営者クラブ会員様 **無料**

主催　FFG経営者クラブ、福岡銀行、熊本銀行、十八親和銀行、FFGビジネスコンサルティング

お申込人数：全日程を通して1社2名様までの参加申込にてお願いいたします。
ホームページにアクセスの上、「商談会・セミナー情報」よりお申込みください。　https://www.ffgbc.com/

お申込期限：各開催日の5営業日前まで

お申込み お問い合せ先　TEL.092-723-2241

株式会社FFGビジネスコンサルティング内
FFG経営者クラブ事務局
〒810-0001 福岡市中央区天神2-13-1（担当：岩谷・石丸）
受付時間 9:00～17:00（但し、銀行休業日は除く）

Singapore Representative Office

シンガポール駐在員報告

シンガポールの食料事情と新たなビジネスチャンスについて

はじめに

東南アジア地域全体は人口ボーナスに恵まれ、魅力的な消費マーケットとして注目を浴びていますが、そのゲートウェイとして特別な存在感を示すのがシンガポールです。

シンプルな法規制と安定した社会インフラにより、新規ビジネスの参入障壁が低いことや、近隣諸国にビジネス展開しやすい点が特徴です。一方で、国土は福岡市の約2倍と小さく、資源も限られていることから、イノベーションを駆使した独自の国家政策を打ち出してきました。

特に食料の分野において、コロナ禍の国境制限で供給不安に陥った事などが原因で、急速なピッチで改革が進められています。

食料自給率の向上にむけて

シンガポールは国土に占める農地が約1％と極端に少なく、食料自給率は10％未満（日本は37％程度）で、先進国の中でも最低水準です。そのため食料の殆どを輸入に依存していることから、2019年、食料自給率を30年までに30％へ引き上げる「30by30」という目標を掲げました。また21年には世界的な潮流に合わせる形で、グリーンエネルギーの活用やグリーンファイナンスの促進などを盛り込んだ環境行動計画「グリーンプラン2030」を発表していますが、その中でも安定した食料供給を達成することが重要な指標の一つとして掲げられています。シンガポールは具体的にどのような取り組みを行っているのでしょうか。

新たなビジネスチャンスの活路

食料自給率を向上するための戦略は大きく分けて2つあります。1つ目は、狭い国土を解消する都市型農業です。国内大手スーパーで取り扱いのある国産の葉物野菜は、スタートアップ企業の屋内垂直施設で作られ、毎朝新鮮な状態で届けられています（写真1）。政府はアグリテックに対する補助金や人材育成プログラムに積極的に支援を行っており、都市型農業の拡大を目指しています。2つ目は、代替食品の開発・製造です。欧米系企業に

■ 写真1

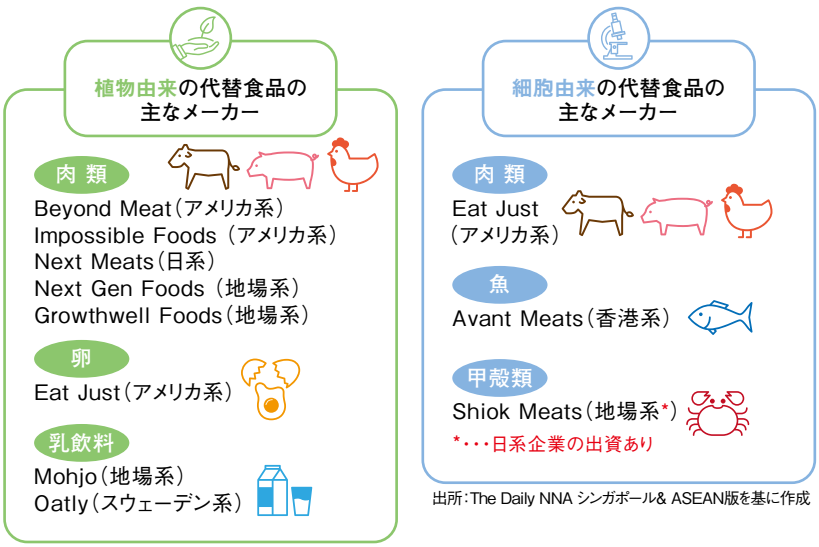
スーパーで売られている国産の葉物野菜

■ 表1　シンガポールの代替食品市場への日本企業の参画例

会社名	設立	事業内容
ネクストミーツ株式会社	2020年6月	✓大豆由来の代替肉の開発・製造を手掛ける日本のフードテック企業。 ✓シンガポールでは日本食店への提供の他、アジアでも人気の漫画「鬼滅の刃」とのコラボデザインでレトルトカレーを販売し話題となった。 ✓シンガポールの食肉卸会社Tiong Lian社と提携し、2022年より現地工場で生産を開始。
SHIOK MEATS PTE. LTD.（シオック・ミーツ）	2018年8月	✓エビ・甲殻類の細胞培養開発を手掛けるシンガポールのフードテック企業。 ✓2020年、日本の包装容器メーカーの東洋製罐グループ、シンガポール企業庁傘下のSEEDS Capitalやリアルテックファンドなどが出資。 ✓甲殻類の消費量が多い日本市場への進出も視野に入れている。

出所：The Daily NNA シンガポール& ASEAN版を基に作成

■ 図1　シンガポールで商品化が進む代替食品の例



出所：The Daily NNA シンガポール& ASEAN版を基に作成

並び、日系企業の進出も既に始まっています（表1）。米イート・ジャスト社が開発した細胞培養鶏肉は、世界で初めてシンガポールで販売認可が下り、会員制レストランや5つ星ホテル内の広東料理店で提供されるなど、実際に市場投入されています。

その他の代替食品の事例

シンガポールでは、既に培養肉や培養魚・甲殻類など様々な代替食品の商用化の動きが進められていますが（図1）、廃棄食材を再利用して製品化に取り組んでいる企業もあります。シンガポール発のフードテック企業CRUST社は、シンガポール政府のR&D機関との共同研究により、食パンの廃棄箇所からビールを安定的に製造しています（写真2）。日系企業とも連携し、2020年には日本進出も果たしています。

このように、食料分野のイノベーションが進むシンガポールにおいては、政府の支援により研究から市場参入までを円滑に行うことができる最大の利点があります。今後のシンガポールにおける食料分野の進展には注目が必要です。

福岡銀行の各駐在員事務所では、市場調査、進出のご相談、ビジネスマッチングのご依頼を承っております。現地での事情をお知りになりたい方は、ぜひお気軽に最寄りの支店までお問合せください。

2022年6月3日現在

（シンガポール駐在員事務所　花森 聡）

■ 写真2

CRUST社のビール商品

FFGが提供するビジネスマッチング

FFG BMS

ビジネス マッチング システム

新たな取引を開拓したいとき、BMSに情報登録するとFFGネットワークによるきめ細やかなサポートで、簡単かつ効率的に自社の製品や技術を発信できます。

このコーナーでは実際にご登録されているマッチング可能な企業様をご紹介いたします。

FFG BMS 登録情報のご紹介

提供企業・商品・サービスについてのお問い合せは、近隣のお取引のある銀行窓口を通じてお願いします。

明和産業株式会社（めいわさんぎょう）

給水管・排水管の腐食防止技術で寿命を(※)約3.5倍長持ちさせませんか?

(※)メーカーの軟鋼を使用した実証実験より

お勧めのポイント

ドールマン・ショックは水質をマイナス帯電水に変えることで、給水管・排水管の赤錆などの腐食を防止することができるため寿命を延ばす効果があります。飲料水としての安全性も認証されています。メーカーは浄水器などの水処理装置をトータルプロデュースする株式会社マキシム。全国のマンションやホテル、飲食店での導入実績があります。

企業情報

1954年創業。主に鉄道車両部品のメンテナンスや部品販売などの業務を行い、鉄道インフラの安全を守り続けています。その他にも、工場設備の新設・メンテナンスを行っております。

また、SDGsの取り組みの一環として新たにドールマン・ショックの販売を行っております。

築14年 賃貸マンション
給水管継手部の腐食程度の比較

無対策

ドールマン・ショック使用

【所　在　地】福岡市中央区唐人町2-3-33
【業　　種】卸売業、小売業、メンテナンス業
【紹 介 支 店】福岡銀行 湊町支店

ドールマン・ショック説明動画

株式会社ネットワーク

熊本市中心市街地で最大級のLEDビジョンを活用して効果的な情報発信をしませんか？

お勧めのポイント

熊本市の中心部にある駕町通り入口にLEDビジョン「Lala Television」を設置しています。

駕町通り入口は熊本県内でもトップの通行量を誇り、老若男女問わず幅広いターゲットに情報を発信できます。信号待ちの約3分間に効果的な広告を流すことができ、イベントと連動したLIVE配信も可能です。

企業情報

1989年創業。熊本県の総合広告会社としてCMやチラシなどの広告を企画からクリエイティブ制作まで行っています。その他にもVRやサイネージなどのデジタルコンテンツ事業、イベント企画事業など幅広い事業を展開しています。

また、超高齢社会におけるシニアライフのサポート事業を行う㈱RKK家族の窓口を設立しています。

あなたのお困り事を整理整頓
RKK 家族の窓

【所　在　地】熊本市中央区九品寺3-15-4 NWビル
【業　　種】広告業
【紹 介 支 店】熊本銀行 本店営業部

オギハラ食品株式会社

三池高菜を使った高菜漬で毎日の食卓においしい九州の味を加えてみませんか？

お勧めのポイント

高菜漬は九州の特産品として古くから親しまれてきました。ウコンと塩のみでじっくりと乳酸発酵させることで独特の酸味と風味が付与され、万能食材となります。ご飯のお供やラーメン・パスタのトッピングはもちろん、お肉との相性もよく、様々な料理に絶妙な風味と食感のアクセントをもたらしてくれます。

企業情報

1916年創業。大牟田発祥とされる三池高菜の高菜漬を原料として『元祖三池ごまたかな』や『明太子高菜』などの主力商品を自社工場で製造しています。日々高菜漬と向き合い、そのおいしさを最大限に活かして生産者からお客様までがおいしさでつながるような製品づくりを心がけています。

【所　在　地】福岡県大牟田市浜田町20-7
【業　　種】漬物・そうざい製造・販売業
【紹 介 支 店】十八親和銀行 久留米支店

vol.18

START UP Company

今月の注目スタートアップ

ここで紹介するスタートアップ企業は、ふくおかフィナンシャルグループの投資会社FFGベンチャービジネスパートナーズが運営するベンチャーファンドが投資しています。

LIVE TO BUSINESS

在留資格上働ける外国人を見つけられる

1000パターンを超える在留資格から自動でフィルター

#外国人を安心して採用できるプラットフォーム

TOKYO JOB

不安のない外国人採用を実現

外国人が自分の在留資格を選択

自動でマッチング

雇用企業が欲しい在留資格を選択

自社紹介

私たち株式会社エルティービーは「ＴＯＫＹＯ ＪＯＢ」という外国人に特化した採用プラットフォームを運営しています。

２０１３年から一貫して外国人に特化し、人材紹介を行ってきました。外国人採用・雇用にまつわるナレッジを活かし、ＩＴ化したものが２０２１年にリリースした外国人採用プラットフォーム「ＴＯＫＹＯ ＪＯＢ」です。

サービス紹介

少子高齢化が現実的な問題である今、外国人材に注目が集まっています。特に地方で顕著で、介護、建設、宿泊、飲食業は常に有効求人倍率が２倍以上の逼迫した状態です。

一方で、外国人を雇用しようとしても雇用側と外国人側との間にミスマッチがあり、なかなか雇用まで辿り着かない現状があります。

求人企業は「地元の新聞に掲載」して人材を集めようとしますが、外国人の80％以上は「ＳＮＳを通して仕事」を探します。

日本に住む外国人の90％は漢字圏以外の出身で「漢字が読めない」にも関わらず、求人企業は「漢字を使って求人票を掲載」します。

求人企業はいざ外国人と面接をしたとしても、「不法就労などわからないことがあると90％の企業は採用しない」と答えています。一方外国人の方は、「どんな仕事が自分にとって働けるのか法律上わからない」と答えます。

私たちはこのミスマッチをなくし、求人企業に安心して雇用してもらえるよう、外国人の「在留資格」に自動フィルターを設定し、「日本語レベル」を可視化する仕組みにしました。

「在留資格」とは、外国人がどんな仕事をして良いのか入管法で定められている「基準」になります。例えば「農業分野で働くことができる在留資格を有する外国人」は「部品製造工場」で働いてはいけません。在留資格は１，０００種類以上あります。なかなか覚えられる数ではないことはご理解いただけるのではないでしょうか。

「日本語レベル」の可視化では、「読む」「書く」「聞く」「話す」の４つのポイントに分けて、求人企業が面接に来る前に、客観的に判断できる尺度を提供しています。

今後の展望

求人企業が採用後も安心して雇用し続けられる仕組みを提供していく予定です。外国人が身分証として持ち歩く「在留カード」に格納されているＩＣチップの読み取り機能により、偽造カードの検知や、入管提出書類の自動化等の機能を実装していきます。

会社概要

株式会社 エルティービー

代表取締役　鈴木（すずき） 晴美（はるみ）
所　在　地　東京都新宿区西新宿7-18-18
新宿税理士ビル別館313
お問い合わせ先　info@livetobusiness.co.jp
ホームページ　https://livetobusiness.co.jp/

GOLF MEGA STAR

VOL.4

ゴルフ界で輝く新星を
紹介するコーナーです

プロゴルファー

櫻井心那

SAKURAI KOKONA

Profile

2004年2月13日生まれ。O型。長崎市出身。長崎日本大学高等学校卒業。身長166センチ。父親の影響で6歳からゴルフを始める。高校3年生でJLPGA（日本女子プロゴルフ協会）プロテスト合格。今春から女子プロゴルファーとして活躍。

長崎県出身の女子プロは24年ぶり！ 期待の新星

今春、高校を卒業してプロデビューを飾った櫻井心那選手。長崎県出身の女子プロ選手は24年ぶり。長崎が生んだ期待の新星だ。

「もともと父がゴルフ好きで。小さい頃、家族旅行で宮崎のダンロップフェニックストーナメントの観戦に行きました。その時に観た石川遼さんに憧れて、ゴルフをしたいと思いました。最初にゴルフを習い始めたのは兄で、その1カ月後、6歳だった私も続きました」

1つ上の兄と一緒に競い合いながら強くなっていった櫻井選手。

「小学生の頃は学校が終わると母が車で迎えにきて、喜々津カントリー倶楽部で兄と一緒に9ホール回るのが日課でした」

小学6年生の時、「九州小学生ゴルフ大会」で優勝。「プロゴルファーになりたい」という小さい頃からの夢が目標へと変わった瞬間だ。

「中学生の時は17時くらいまで授業があったのでコースはあまり回れませんでしたが、行ける日は何ホールか回ったりしていました」

中学1年から高校3年生までの約6年間は、九州ゴルフ連盟（GUK）の強化選手に指定され、毎年ジュニア強化合宿に参加した。

「合宿では九州トップレベルの選手たちと一緒にトレーニングや実戦練習、コースマネジメントを学ぶことができ、刺激になりました」

長崎日大高校へ進学 ゴルフで高校生女王に！

高校はゴルフ部のある長崎日本大学高等学校（長崎県諫早市）に進学。

「放課後は監督がバスで喜々津カントリー倶楽部や長崎国際ゴルフ倶楽部に連れて行ってくれて、2時間くらい練習しました。2週間に1回、土曜にパサージュ琴海アイランドゴルフクラブで1日練習しました」

高校は学業をしっかり行いながらスポーツをする校風だったという。

「朝練もなく授業は7限目まで。練習時間は少なかったですが、集中して部活に取り組めました」

高校2年の4月、「OBS九州ジュニアゴルフ大会」で優勝。だが、新型コロナウイルス感染症の影響で高校2年時の試合はことごとく中止になった。

「体育祭や学園祭、修学旅行など学校行事がコロナ禍でなくなってしまったのは哀しいですが、ゴルフは試合が中止になっただけで、練習はできたので練習を続けていました」

3年生になると、九州の2つの大きなタイトル「九州女子選手権」「九州ジュニアゴルフ選手権」で優勝。その才能がいっきに開花した。

勢いにのった櫻井選手は、全国高等学校ゴルフ選手権大会（緑の甲子園）の女子個人の部で長崎県勢初優勝を飾り、高校生女王に輝いた。

「全国優勝することは小学生の頃からの目標だったので、高校最後に達成できて夢みたいでした」

高校3年生でプロテスト一発合格！

全国優勝の喜びも束の間。翌月から2021年度JLPGA（日本女子プロゴルフ協会）プロテストに臨んだ。

「大学に行くか迷った時期もありますが、今の女子ゴルフ界は若い選手がどんどん出て優勝しているので、大学に行ったら4年間プロテストを受けられなくなってしまう。その時間がもったいなくて、高校3年時にプロテストを受けようと思いました」

櫻井選手がプロテストを受けた時の総受験者数は614名。合格したのは20位タイまでの21名で、合格率は3・4%という狭き門だ。

「日頃は緊張しないのですが、プロテストの期間は落ちた時のことを考えて不安な気持ちになり、ストレスで5キロくらいやせました」

1次は周南カントリー倶楽部（山口）、2次はザ・ロイヤルゴルフクラブ（茨城）、最終プロテストは城陽カントリー倶楽部（京都）で行われた。

「母が全ての会場に付いて来てくれました。コロナ対策で選手以外は会場に入れなかったので、プレー中は車でずっと待っていてくれました」

最終テストで見事プロテスト合格。車で待ちわびていた母親に合格を知らせ、遅れて会場に駆けつけた父親と合流し、家族で喜びあったという。

ステップ・アップ・ツアーでプロ初優勝を目指す！（※）

プロ1年目はステップ・アップ・ツアーが主戦場になる。3月のデビュー戦では3位タイと好発進。

「今季の目標は、ステップ・アップ・ツアーでプロ初優勝を飾ること。ステップ・アップ・ツアーの賞金女王になって来季のレギュラーのシード権を獲得することが目標です」

シーズン終了の11月まで全国各地のツアーに参戦する。全ツアー母親が付き添ってくれるから心強い。

「全力でサポートしてくれる家族には感謝の気持ちでいっぱいです。早くゴルフで恩返ししたいです」

櫻井選手は地元への愛着も強い。

「長崎は女子プロが少ないので、自分が活躍して、長崎の子どもたちに憧れてもらえるように、プレーやマナー、人間性を磨きたいです。ツアーでたくさん勝って、九州のゴルフ人口が増えたらいいなと思います」

櫻井選手の好きな言葉は「有言実行」。今までも「全国優勝する！」「プロテストで一発合格する！」は周りに公言し、達成してきた。

「将来的にはツアーの賞金女王になる！日本女子オープンで優勝することが目標です！」

（※）インタビューは4月1日に行われましたが、6月1日～3日、兵庫県の北六甲カントリー倶楽部で開催された「ECCレディスゴルフトーナメント」で櫻井選手は見事、プロ初優勝を飾りました。まさに「有言実行」。櫻井選手の可能性は無限大です。心からおめでとうございます！

取材協力

喜々津（きききつ）カントリー倶楽部（くらぶ）

■住　所：長崎県諫早市多良見町市布1656-1

■電話：0957-43-0223

櫻井心那プロに聞きました!

Q.ドライバー平均飛距離は?
240ヤード

Q.ベストスコアは?
66(あつまる阿蘇赤水)

Q.得意なクラブは?
ドライバー

Q.憧れのアスリートは?
松山英樹さん

Q.好きな音楽は?
気分を上げたい時はブラックピンク。
気持ちを落ち着かせたい時は櫻坂46

Q.好きな映画は?
アナと雪の女王

Q.好きな食べ物は?
ウナギ。賞金を稼いだら諫早でウナギを食べたいです

Q.嫌いな食べ物は?
好奇心旺盛なので何でも食べます!

Q.休日の過ごし方は?
母と一緒にショッピングや、おばあちゃん家に行ったりしています

Q.もらってうれしいプレゼントは?
いい匂いのするもの、アクセサリー、コスメ、可愛いモノが好きです。
お菓子も好き。今はたべっ子どうぶつにハマっています

Q.長所は?
落ち着いているところ

Q.ストレス解消法は?
家で大声で歌います

ゴルフバッグにはJLPGA(日本女子プロゴルフ協会)ネームタグ、お守りなどをつけている

九州の星
Star of Kyushu
74

頑張るあなたを
応援するコーナーです

目標に向けてコツコツ努力を積み重ねることで大きな成果が得られました！

MOS世界学生大会2021 エクセル365&2019部門 世界第1位

日本の高校生初・エクセル世界一

2021年11月に開催された「マイクロソフト オフィス スペシャリスト（MOS）世界学生大会2021」で、福岡県立八幡高等学校の中園愛美さんがエクセル365&2019部門で世界第1位に輝いた。

「今までの努力が報われた感じがして、とても嬉しかったです」

中園さんは6歳の頃からパソコンに慣れ親しみ、小学6年時にタイピングの早さと正確さを競う全国大会で日本一になったこともある。

「高校入学後、コロナ禍の臨時休校などで部活動に入りそびれてしまって。部活動に打ち込む同級生を見て、自分も頑張れるものをと思い、エクセルの世界学生大会への挑戦を決意しました」

MOSの資格試験に合格し、厳しい審査を経て日本代表に選ばれた中園さん。

「決勝までの5カ月間は、14冊のテキストを使って1日1時間、集中して勉強し体調管理に努めました。大きな目標を達成するために、コツコツ努力し続けたことが大きな力になり、本番で実力を発揮することができました」

4月から3年生に進級。大学受験の勉強で忙しい毎日を送りつつも、「マーケティングやデータサイエンスなど、エクセルで学んだことを活かせる大学に進みたいです！」と新たな目標に目を輝かせている。

中園 愛美
NAKAZONO AMI

Age 18
福岡県立八幡高等学校3年生

▲エクセル2016部門 日本代表の伊東絵里さんと一緒に

▲「MOS世界学生大会2021」日本代表集合写真

写真提供：（株）オデッセイコミュニケーションズ

没後10年島内きみ展
記憶の形象

Juhachi-Shinwa Art Gallery 10th Anniversary
十八親和アートギャラリー開館10周年記念

第2弾

2022
6.18（土）→ 8.27（土）

肥前の名工展

開館10周年を記念して、ふたつの企画展を同時開催いたします。

十八親和アートギャラリー開館10周年を記念した特別記念展の第2弾といたしまして、コレクションの中から絵画と陶磁器、ふたつの企画展を同時開催いたします。

季節展示室と絵画展示室1に於いて、長崎県ゆかりの画家・島内きみ展を開催いたします。島内は国画会を中心に発表を行い、淡い色彩を重ねて対象を捉える画風は現在も多くの人々を魅了しつづけています。本展では1950年代から70年代にかけて制作された油彩画8点（初公開1点）をご紹介いたします。

また、陶磁器展示室2の一部に於いて、肥前陶磁の名工たちの作品展を開催いたします。重要無形文化財保持者（人間国宝）など、伝統を継承し発展を担ってきた名工たちの額皿、花器、水指、茶碗など10点（初公開8点）をご紹介いたします。唐津、色鍋島、濁手、白磁、青磁の競演をお楽しみください。

このほか、近代洋画、日本画、陶磁器、ロシアイコンなど約140点の常設展示も行っております。

十三代今泉今右衛門
「色鍋島吹墨草花文額皿」

いまいずみ・いまえもん：1926～2001。十二代今右衛門の長男として生まれる。東京美術学校（現、東京藝術大学）工芸科卒業。1975年十三代今右衛門を襲名。翌年、「色鍋島今右衛門技術保存会」を改組し、国の重要無形文化財の総合指定を受ける。吹墨、薄墨の技法で独自の色鍋島を確立した。1989年重要無形文化財「色絵磁器」保持者（人間国宝）に認定された。

島内きみ
「本薬師寺礎石」　油彩画 P30号

しまうち・きみ：1916～2012。佐賀市生まれ。1929年佐世保市に転居。小佐世保小学校教員時に第2回新文展に初出品し入選を果たす。1941年佐世保洋画研究所を開設して後進の育成に尽力した他、1953年にはフランス留学を行った。1958年東京都世田谷区に転居。国画会、日本女流画家展等で精力的に発表。1985年長崎県立美術博物館で回顧展が開催された。

十八親和 アートギャラリー

鑑賞無料

［開館時間］10：00～16：00（入館は15：30まで）
［休　館　日］日・月・祝日、年末年始（12/31～1/3）
※土曜日が祝日の場合は開館

長崎県佐世保市島瀬町4-24 十八親和銀行島瀬ビル1F　TEL.0956-23-4856
西肥バス島瀬町バス停から徒歩3分、JR佐世保駅から徒歩約20分

長崎だより

長崎の情報をお届けします

FFG調査月報の姉妹誌「ながさき経済」を発刊している、ふくおかフィナンシャルグループの長崎経済研究所。長崎の旬な情報を提供するコーナー「長崎だより」の今月号は、株式会社フジシタ　取締役　川鍋 明日香様に「発明親子の奮闘記 発明農機具ジャガールとブルガール　農機にかける親子の思い」と題し、寄稿していただきました。

長崎経済研究所による「ながさき経済web」随時更新中!

当研究所が発信する最新の情報をメールでお届けします。

メールマガジンの登録はこちら▶

ながさき経済web画面

お問い合わせ

株式会社長崎経済研究所
長崎市銅座町1番11号
十八親和銀行本店内
TEL095-828-8859

長崎経済研究所とは

長崎県の経済・社会・産業動向などに関する調査研究及び企業経営や県民の生活のお役に立つ情報をご提供するとともに、各種経済・文化団体の事務局活動等を通じて、地域社会に貢献することを目指しております。

発明親子の奮闘記

発明農機具ジャガールとブルガール　農機にかける親子の思い

寄稿　川鍋 明日香

左から筆者、娘、ジャガール、父・藤下實一（ふじしたじついち）

父の油で汚れた真っ黒な手が大嫌いだった小さい頃

「明日香！また風呂掃除忘れとるやろ！ちゃんとしなさい」

祖父の代から始まり、父が継いだ藤下機械店。農業機械の販売や修理をするお店でした。

父、母、社員、合計3名の小さなお店。父の手はいつも油で汚れて真っ黒。そんな父の油臭い手が嫌いでした。母は経理やお客様への接客対応で忙しく、家事は三姉妹で担当。担当する家事が終わらないと遊びに行けず、「自営業じゃなかったらもっと遊べるのに」と両親への不満

Profile

ホームページ

株式会社フジシタ
取締役
川鍋（かわなべ） 明日香（あすか）

1983年　長崎県雲仙市愛野町生まれ
　　3姉妹の次女
2003年　福岡大学商学部貿易学科入学
2007年　株式会社リクルート入社
2010年　株式会社フジシタ（旧藤下機械店）入社
2012年　じゃがいも種芋植え付け機ジャガール開発
2019年　じゃがいも収穫機ブルガール開発

爆発の子供時代でした。

実家を手伝うなんて一度も思ったことはありませんでした。

ポンコツのリクルート時代

株式会社リクルートに入社できたものの、新人時代の私は本当にポンコツでした。朝4時まで企画書を作り非常階段で仮眠していました。取引先の社長や上司を怒らせることは日常茶飯事。心も体もボロボロになり、入社半年でうつ状態になってしまいました。「このままだと、先を考えなきゃいけない」事実上のクビを宣告もされました。

実は父が発明家だと気づく

なんとか社会人としてまともになってきた営業4年目の時に父から1本の電話が。「発明したじゃがいも種芋植え付け機を雲仙市の助成金事業に申請したい。俺は字を書くのが苦手だから、明日香が企画書を作ってくれないか?」との相談でした。「じゃがいも種芋植え付け機?よくわからないけどいいよ」と返事をし愛野へ向かい父に発明した背景を聞きました。

ジャガールの試験の様子(左が父)

開発している様子

「親父から引き継いだ時に借金は7000万あったんだ。がむしゃらに働いてやっと今がある。だけどただ仕入れて売るだけでは食っていけない。そこで発明したのが種芋植え付け機だ。この機械が売れなかったらゆくゆくは廃業しようと思う」

農家のお客様に使ってみた感想を聞きにも行きました。「社長がいないと農業はやっていけんよ」、「83歳だがこの植え付け機があればこの先10年じゃがいも作れる。歩かなくていいから楽」。

感想を聞いた農家様は口々に、父や植え付け機のことを褒めてくださいました。じゃがいもについて知りたい。調べてみると、じゃがいも生産量の第1位は北海道、3位は長崎県で、雲仙市はじゃがいも生産の一大産地だということ。近年では高

じゃがいも種芋植え付け機　ジャガールタンク　※現在はジャガールタンクという名称になりました。

齢化が理由で離農する農家が増えてきていること。北海道で使われている機械は大きすぎて長崎の狭い畑では使えないこと。大手企業はマーケットが小さいので狭い畑に合う機械を作らないことがわかりました。

お客様によると、今までの植え付け方法は1日約20キロ歩きながら植え付けするとのこと。植え付け期間が約1週間だとすると、ハーフマラソンが1週間続く過酷な作業。また、歩きながら種芋をベルトコンベアに1つずつ手で入れる作業は、夕方になると握力がなくなり泣きながら家事をしなければならずつらいこと。父が発明した植え付け機なら座って植え付けできるので歩かなくてよくなる。さらに、ほぼ自動でベルトコンベアに種芋が入るので、作業が格段に楽になります。

小さい頃は嫌だった父の真っ黒い手。お客様の言葉やじゃがいも栽培について調べることで、父の手は長年お客様の為に農機具の修理や改良をしてきた努力の証だと気づきま

した。初めて父がやっている仕事の意味や価値を肌で感じました。

父が発明した植え付け機の魅力に気づき始めた矢先、父が機械の下敷きになり重傷を負ってしまいました。一命をとりとめ現場に復帰したものの、私はこの事故を機に決意しました。「父が40年培ってできた植え付け機を世の中に伝えられるのは私しかいない。愛野に戻ろう」

テレビ・新聞・雑誌に合計88回取り上げて頂く

作った企画書をバッグの中に入れ、会う人全員にジャガールのことを伝えました。その結果、投資顧問会社の方が「面白いね」と興味を持って下さり無料でアドバイスして頂きました。植え付け機にジャガールとネーミング。じゃがいも大好きな女の子ジャガールになり、赤いつなぎを着て父と一緒に畑に実演に向かいました。自社ホームページは全くの素人でしたが、約2年かけて制作。開発費を捻出する為にキューテックに応募。300万円助成して頂けました。メディア掲載は、現在までに「日本のチカラ」や、「ぐっ!ジョブ」などテレビ・新聞・雑誌に合計88回取り上げて頂きました。商標や特許も積極的に取得。ジャガールは2012年販売開始から現在まで、日本全国や海外に合計200台販売しました。

父の新たな挑戦

「藤下社長、今度はじゃがいも収穫機を発明してくれないか。一番きついんです」きっかけはお客様からのご相談でした。父はじゃがいも収穫機の開発に着手。収穫機の試験が連日続くこともよくあり、試験で上手くいかなかった部分を深夜12時まで改良し、次の日の実演に挑んでいました。

3年の開発期間を経て2019年にじゃがいも収穫機ブルガールが完成しました。お客様からは、「今までは10人でやっていたが今は2人でできるので効率が上がった」「じゃがいも栽培30年の中で、最速でじゃがいも収穫作業が終わった」などお喜びの声を頂いています。

商工会の小規模事業者持続化補助金や国が設置した無料の経営相談所のよろず支援拠点を活用してブルガールの商品ページ、PR動画などを製作しました。現在ブルガールは全国で40台販売しています。

じゃがいも収穫機　ブルガール

改良について若手と話し合い中

ロケット教室では11機発射成功

農家様とのやりとりの様子

今後の展開

今後もお客様に求められる農機具店であり続ける為に大切にしたいことが3つあります。

1. 社長の技術を次世代に継承

現在2名の社員が社長の技術を継承すべく頑張っています。

2. 農業機械の開発

現在トラクターに取り付けると、一度に2列じゃがいも種芋を植え付けできる機械を開発中です。

3. 業種を越えたつながり

フィリピン中央大学と共同開発プロジェクトに取り組んだり、株式会社植松電機の植松努社長のロケット教室を弊社で開催したりしています。福岡大学の教授やお客様のお孫さん、地域の子供達や保護者の方やプロのダンサーなど業種を越えて弊社を知ってもらう取り組みにも力をいれています。今後も、フジシタを知って頂けるように楽しみながら関わっていきたいです。

FFG調査月報 2022年7月号 VOL.147　2022年6月27日　発行／㈱FFGビジネスコンサルティング　福岡市中央区天神2丁目13番1号　TEL 092(723)2244　制作・印刷／久野印刷㈱

2022年度 経済講演会

日本経済展望

～新しい資本主義と九州の戦略

2022
7.22（金）
13：30～15：00

Zoomによるオンライン開催

定員：200名（定員になり次第締切）

参加費
無 料
事前の申込みが必要です

講師：神田 慶司 氏
株式会社大和総研　経済調査部 日本経済調査課長　シニアエコノミスト

福岡市出身。2004年一橋大学経済学部卒業後、大和総研入社。内閣府出向、政策調査部など経て、2019年より経済調査部日本経済調査課長。専門は日本経済、財政・社会保障。約20年にわたり、日本経済を分析し、現在は四半期に一度公表する日本経済予測と、年に一度公表する日本経済中期予測を取りまとめるとともに、月例の日本経済見通しを担当。マクロモデルによる予測やシミュレーション、先行研究を踏まえた定量分析などを通じて、日本の経済社会が抱える様々な課題の解決に貢献。著書に『この一冊でわかる世界経済の新常識2022』（日経BP、共著）、『明解 日本の財政入門』（金融財政事情研究会、共著）、『物価迷走―インフレーションとは何か』（角川書店、共著）などがある。

主催：株式会社ふくおかフィナンシャルグループ　公益財団法人九州経済調査協会
後援：株式会社FFGビジネスコンサルティング

九州経済調査協会のウェブサイト（https://www.kerc.or.jp/seminar/2022/05/722-1.html）からお申込みください。
こちらからもお申込みいただけます▶

■お問い合わせ先
（公財）九州経済調査協会 総務企画部・BIZCOLI　担当：牟田・岡本　TEL：092-721-4909